



神戸市外国語大学データ集

データでみる神戸市外大

2025 年度



【目次】

0	概要	3
1	歴史	4
1-1	沿革	4
1-2	歴代学長	5
1-3	累計卒業生数	5
2	教育	6
2-1	学生数	6
2-2	入試実施状況	7
2-3	出身地域別入学者割合	8
2-4	減免制度・奨学金制度利用状況	9
2-5	就職状況	10
2-6	資格等取得状況	11
2-7	語学運用能力の成長	13
2-8	課外活動状況	15
3	研究	20
3-1	科学研究費助成事業	20
3-2	学術論文	24
3-3	研究支援事業	28
4	国際交流	30
4-1	留学状況	30
4-2	国際交流協定	34
5	地域貢献・地域連携	36
5-1	地域行政、団体などとの協力	36
5-2	市民講座・公開講座等	37
5-3	学生ボランティア活動	38
6	教職員	39
6-1	教員数	39
6-2	職員数	39
7	財務状況	40
8	図書館	41

※このデータ集は、原則として前年度（2024年度）時点での状況をまとめているが、一部2025年度の情報が記載されている項目もある。

0 概要

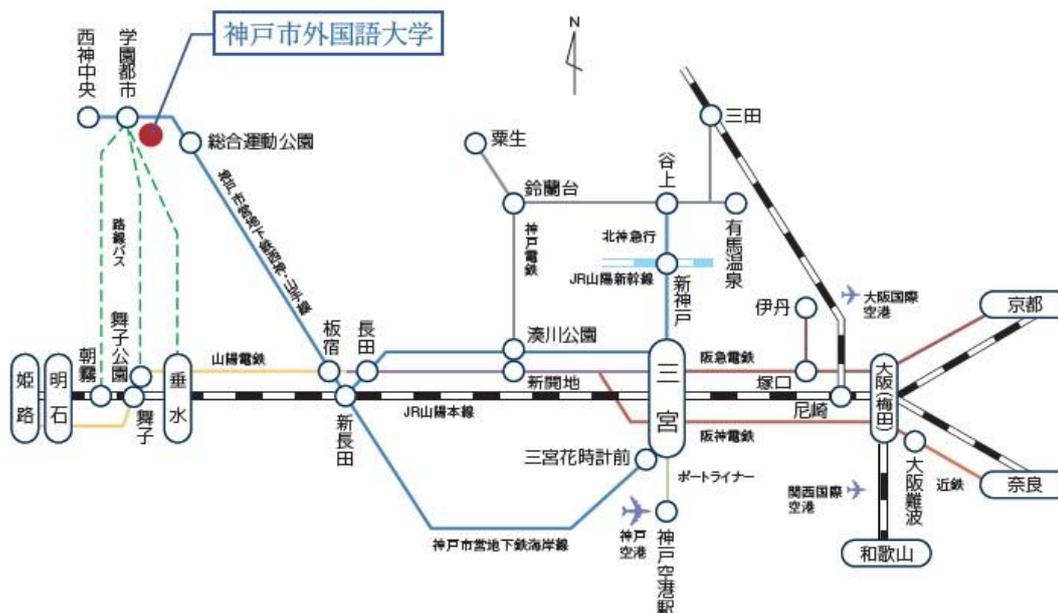
■大学名称 神戸市外国語大学
(Kobe City University of Foreign Studies)

■キャンパス面積 校地面積 : 84,980 m²
校舎面積 : 21,113 m²

■所在地 〒651-2187
兵庫県神戸市西区学園東町9丁目1

■設置学部

(学部)	外国語学部	英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科
	外国語学部第2部	英米学科
(大学院)	外国語学研究科	英語学専攻 ロシア語学専攻 中国語学専攻 イスパニア語学専攻 国際関係学専攻 日本アジア言語文化専攻 英語教育学専攻 文化交流専攻



1 歴史

1-1 沿革

- 1946 神戸市立外事専門学校を設立
- 1949 神戸市外国語大学に昇格（外国語学部を英米・ロシア・中国の3学科設置）
- 1950 短期大学部を併設
- 1951 外国学研究所設置
神戸市立外事専門学校を廃止
- 1953 大学に外国語学部第2部英米学科を新設
語学文学課程、法経商課程の2コースを設置
- 1954 教職課程を設置
- 1955 短期大学部を廃止
- 1962 学部にイスパニア学科を設置
- 1967 大学院外国語学研究科（修士課程）を設置
- 1986 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
- 1987 学部に国際関係学科を設置
第2部に司書課程を設置
- 1991 大学院外国語学研究科に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を設置
（1999年 日本語日本文化専攻は日本アジア言語文化専攻に名称変更）
- 1994 学部に総合文化コースを設置
- 1996 大学院外国語学研究科に博士課程文化交流専攻を設置
- 1999 近隣5大学・1高専にて単位互換授業開講
- 2002 大学院外国語学研究科修士課程で神戸大学大学院文学研究科博士前期課程（修士課程）と単位互換授業開講
- 2004 大学院外国語学研究科に英語教育学専攻を設置
- 2007 公立大学法人に移行
第1期中期計画スタート
- 2009 学部に国際コミュニケーションコースを設置
- 2013 第2期中期計画スタート
- 2015 大学院外国語学研究科修士課程に、論文、課題研究の2コースを設置（英語教育学専攻を除く）
- 2016 第2学舎増築（スチューデントcommons新設）
- 2019 第3期中期計画スタート
- 2021 学部に語学文学、国際法政、経済経営、多文化共生、リベラルアーツの5コースを設置
- 2023 神戸市立工業高等専門学校と同一法人下での一体運営を開始
- 2025 第4期中期計画スタート

1-2 歴代学長

神戸市立外事専門学校 校長	氏名	任期
	金田 近二	1946.5.3～1949.3.31

神戸市外国語大学 学長	氏名	任期
	金田 近二	1949.4.1～1954.6.6
	木方 庸助	1954.6.7～1960.6.6
	本田 実	1960.6.7～1966.6.6
	山本 守	1966.6.7～1970.6.6
学長職務代行	林 雪光	1970.6.7～1973.6.30
	林 雪光	1973.7.1～1979.6.30
	田島 博	1979.7.1～1983.6.30
	林 一郎	1983.7.1～1987.6.30
学長職務代行	行田 良雄	1987.7.1～1987.7.31
	行田 良雄	1987.8.1～1993.7.31
	須藤 淳	1993.8.1～1999.7.31
	東谷 穎人	1999.8.1～2005.7.31
	木村 栄一	2005.8.1～2011.3.31
	船山 仲他	2011.4.1～2017.3.31
	指 昭博	2017.4.1～2021.3.31
	田中 悟	2021.4.1～

1-3 累計卒業生数

■学部 (2025年3月31日現在)

学部・学科		卒業生数
外国語学部	英米学科	8,312
	ロシア学科	2,387
	中国学科	2,777
	イスパニア学科	2,182
	国際関係学科	2,768
外国語学部第2部 英米学科		6,041
合計		24,467

■大学院 (2025年3月31日現在)

課程・専攻		修了者数
修士課程	英語学専攻	309
	ロシア語学専攻	51
	中国語学専攻	61
	イスパニア語学専攻	72
	国際関係学専攻	192
	日本アジア言語文化専攻	260
	英語教育学専攻	144
	合計	1,089
博士課程	文化交流専攻	106
合計		1,195

※博士課程（文化交流専攻）における数値は、博士の学位授与数

2 教育

2-1 学生数

■学部

※2025年5月1日現在

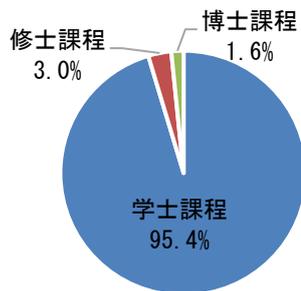
学部・学科別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女					
外国語学部	英米学科	560	140	49	91	152	46	106	211	59	152	165	52	113	668	206	462
	ロシア学科	160	48	24	24	41	12	29	51	22	29	49	22	27	189	80	109
	中国学科	200	55	11	44	53	8	45	73	15	58	63	12	51	244	46	198
	イスパニア学科	160	46	14	32	50	19	31	46	13	33	55	17	38	197	63	134
	国際関係学科	320	82	18	64	88	24	64	108	28	80	118	36	82	396	106	290
学部計	1400	371	116	255	384	109	275	489	137	352	450	139	311	1694	501	1193	
外国語学部 第2部英米学科	320	92	33	59	82	34	48	99	38	61	116	42	74	389	147	242	
合計	1720	463	149	314	466	143	323	588	175	413	566	181	385	2083	648	1435	

■大学院

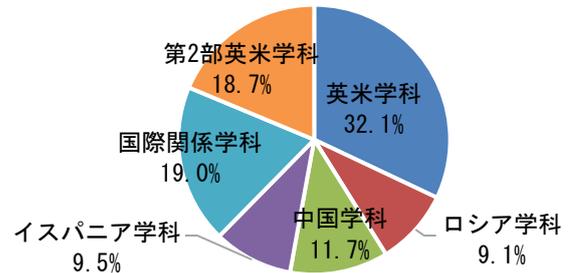
※2025年5月1日現在

課程・専攻別	定員	1年		2年		3年		4年		合計							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女					
修士課程	英語学専攻	20	5	2	3	6	3	3	/	/	/	/	11	5	6		
	ロシア語学専攻	10	0	0	0	1	0	1	/	/	/	/	1	0	1		
	中国語学専攻	10	2	0	2	2	2	0	/	/	/	/	4	2	2		
	イスパニア語学専攻	10	0	0	0	0	0	0	/	/	/	/	0	0	0		
	国際関係学専攻	20	3	0	3	4	3	1	/	/	/	/	7	3	4		
	日本アジア言語文化専攻	24	11	7	4	13	4	9	/	/	/	/	24	11	13		
	小計	94	21	9	12	26	12	14	/	/	/	/	47	21	26		
英語教育学専攻	20	4	1	3	15	7	8	/	/	/	/	19	8	11			
合計	114	25	10	15	41	19	22	/	/	/	/	66	29	37			
博士課程	文化交流専攻	36	4	2	2	10	6	4	21	8	13	/	/	/	35	16	19
合計	150	29	12	17	51	25	26	21	8	13	/	/	/	101	45	56	

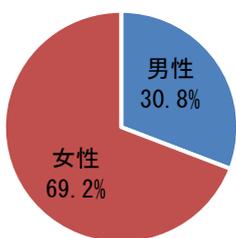
課程別学生数（学士・修士・博士）



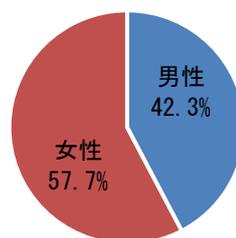
学科別学生数（学部）



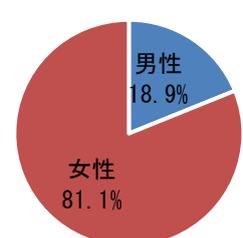
英米学科



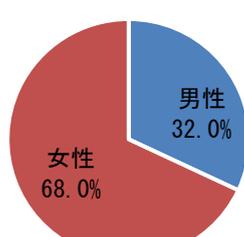
ロシア学科



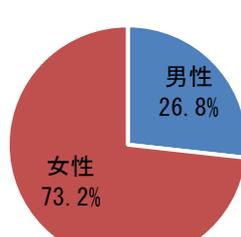
中国学科



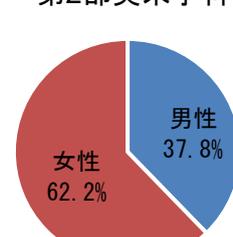
イスパニア学科



国際関係学科



第2部英米学科



2-2 入試実施状況

■2025年度入学試験実施状況（2024年度実施）

学部 学科別	入試区分		募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数	志願者倍率 B/A	競争率 C/D	昨年度 競争率		
			人	人	人	人	人	倍	倍	倍		
学 部	英米 学科	総合型	総合型	7	48	46	7	7	6.9	6.6	7.4	
		学校推薦	市内枠	9	16	16	10	10	1.8	1.6	2.5	
			全国枠	13	52	52	14	14	4.0	3.7	7.1	
		一般選抜	前期	91	252	242	101	140	94	2.8	2.4	2.3
			後期	20	237	237	26	15	11.9	9.1	1.8	
		特別選抜	帰国	若干名	1	1	1	0				
	外国人			1	1	0	0					
	ロシア 学科	総合型	総合型	4	6	6	4	4	1.5	1.5	2.7	
		学校推薦	市内枠	2	1	1	1	1	0.5	1.0	1.5	
			全国枠	3	4	4	4	4	1.3	1.0	4.0	
		一般選抜	前期	26	59	57	30	40	27	2.3	1.9	2.4
			後期	5	121	121	10	4	24.2	12.1	1.2	
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0				
	外国人			0	0	0	0					
	中国 学科	総合型	総合型	3	9	9	4	4	3.0	2.3	2.0	
		学校推薦	市内枠	3	5	5	2	2	1.7	2.5	2.0	
			全国枠	3	16	16	3	3	5.3	5.3	2.0	
		一般選抜	前期	33	115	112	37	50	35	3.5	3.0	2.3
			後期	8	121	121	11	6	15.1	11.0	2.9	
		特別選抜	帰国	若干名	0	0	0	0				
外国人			0	0	0	0						
イパニア 学科	総合型	総合型	3	21	21	5	5	7.0	4.2	4.3		
	学校推薦	市内枠	2	6	6	2	2	3.0	3.0	2.5		
		全国枠	2	14	14	4	4	7.0	3.5	4.0		
	一般選抜	前期	26	85	83	28	41	27	3.3	3.0	1.6	
		後期	7	95	95	7	2	13.6	13.6	3.0		
	特別選抜	帰国	若干名	2	2	1	1					
外国人			0	0	0	0						
国際関係 学科	総合型	総合型	11	78	78	14	14	7.1	5.6	5.7		
	学校推薦	市内枠	5	14	13	5	5	2.8	2.6	3.7		
		全国枠	5	46	46	7	7	9.2	6.6	6.0		
	一般選抜	前期	49	186	179	54	80	50	3.8	3.3	1.9	
		後期	10	80	80	10	3	8.0	8.0	2.8		
	特別選抜	帰国	若干名	3	3	1	1					
外国人			0	0	0	0						
学部計	総合型	総合型	28	162	160	34	34	5.8	4.7	5.1		
	学校推薦	市内枠	21	42	41	20	20	2.0	2.1	2.6		
		全国枠	26	132	132	32	32	5.1	4.1	5.5		
	一般選抜	前期	225	697	673	250	351	233	3.1	2.7	2.2	
		後期	50	654	654	64	30	13.1	10.2	2.2		
	特別選抜	帰国	若干名	6	6	3	2					
外国人			1	1	0	0						
第2部 英米学科	総合型	総合型	2	5	5	3	3	2.5	1.7	6.5		
	学校推薦	市内枠	4	7	7	4	4	1.8	1.8	2.5		
	一般選抜	前期	41	131	127	46	80	45	3.2	2.8	2.7	
		後期	14	133	133	19	9	9.5	7.0	4.1		
	特別選抜	社会人	19	25	25	19	19	1.3	1.3	1.4		
合計	総合型	総合型	30	167	165	37	37	5.6	4.5	5.2		
	学校推薦	市内枠	25	49	48	24	24	2.0	2.0	2.6		
		全国枠	26	132	132	32	32	5.1	4.1	5.5		
	一般選抜	前期	266	828	800	296	431	278	3.1	2.7	2.3	
		後期	64	787	787	83	39	12.3	9.5	2.5		
	特別選抜	社会人	19	25	25	19	19	1.3	1.3	1.4		
		帰国 外国人	若干名	6 1	6 1	3 0	2 0					
	総合型	小計	30	167	165	37	37	5.6	4.5	5.2		
	学校推薦	小計	51	181	180	56	56	3.5	3.2	4.2		
	一般選抜	小計	330	1615	1587	379	317	4.9	4.2	2.3		
	特別選抜	小計	19	32	32	22	21	1.7	1.5	1.6		
			430	1995	1964	494	431	4.6	4.0	2.6		

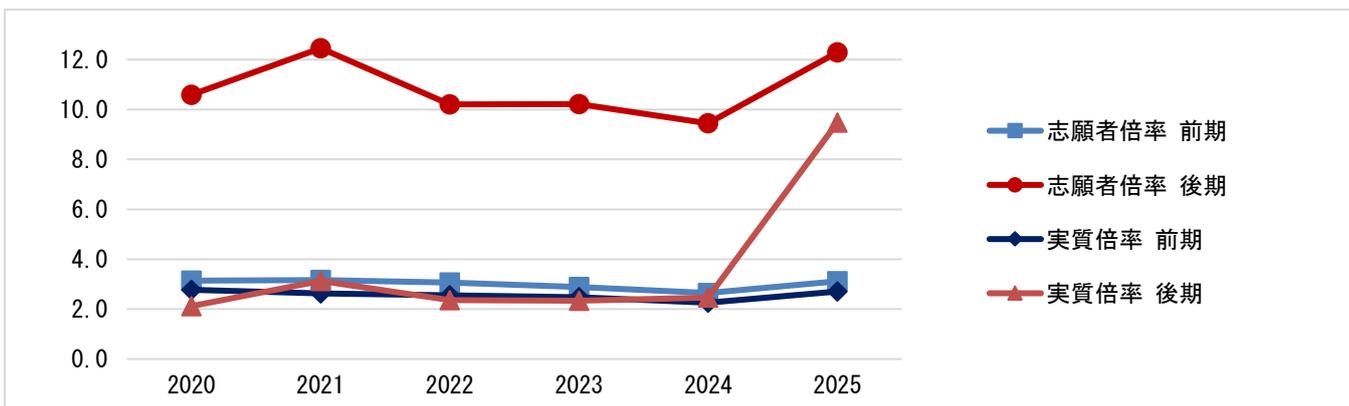
※一般選抜（後期日程）の合格者数は、以下の追加合格者を含む。

英米学科6名、ロシア学科3名、中国学科1名、第2部英米学科5名（その他の学科は追加合格なし）

※一般選抜（後期日程）は個別学力検査を課していないため、志願者数を受験者数としている。

大修士課程	57	42	40	26	25	0.7	1.5	1.3
うち英語教育学専攻	10	7	7	4	4	0.7	1.8	1.0
院博士課程	12	4	4	4	4	0.3	1.0	1.3

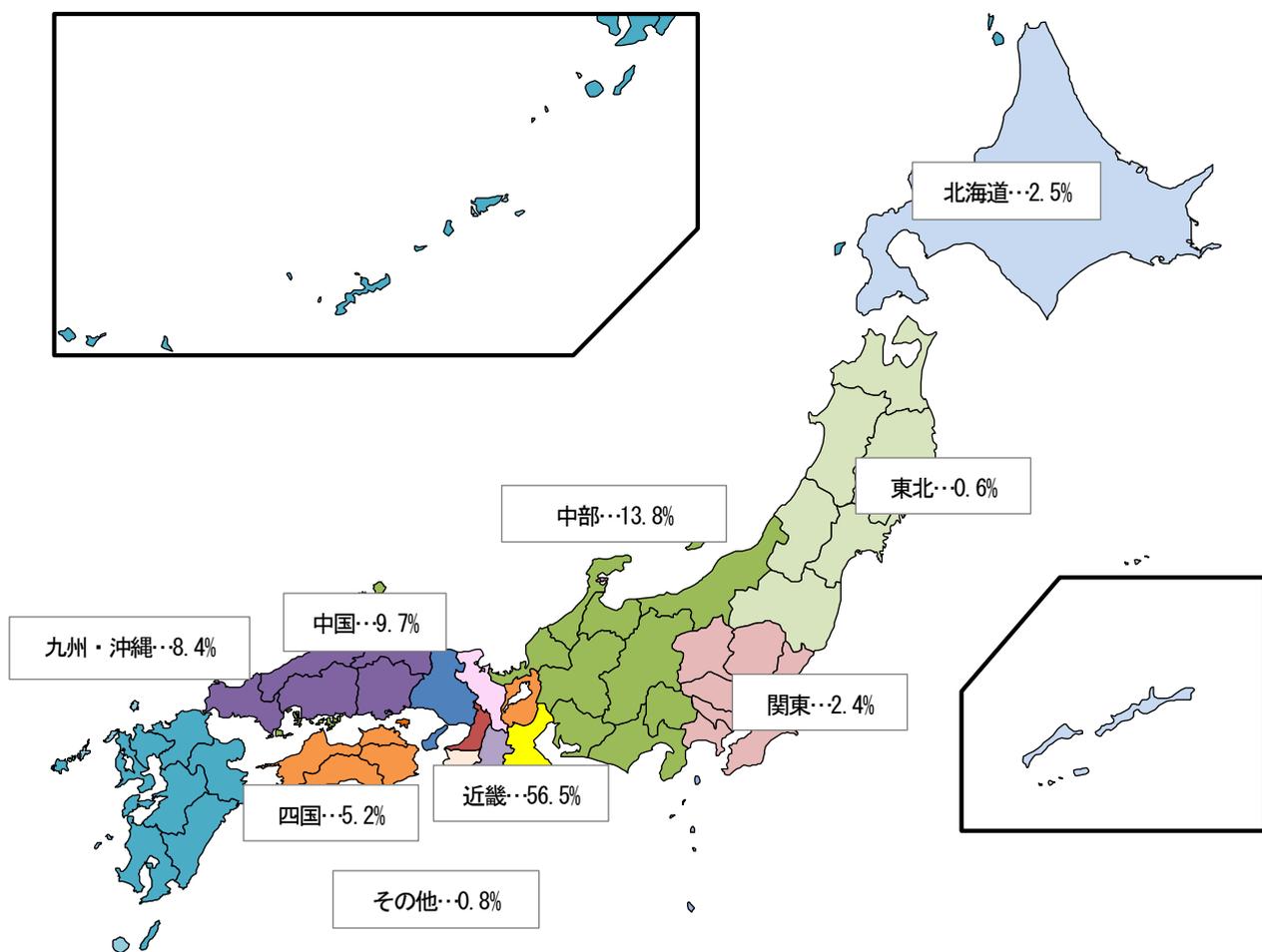
■志願者倍率・実質倍率の推移（学部一般入試）



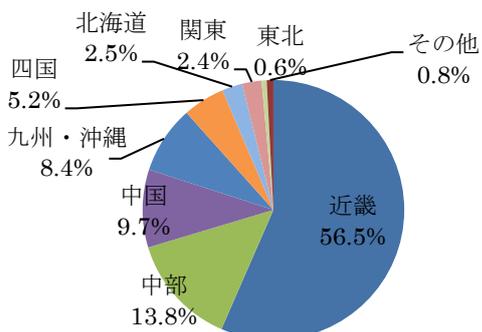
※入試年度は、受験生が入学する年の西暦で表記（2025 は 2024 年度に実施した入試を指す）

2-3 出身地域別入学者割合

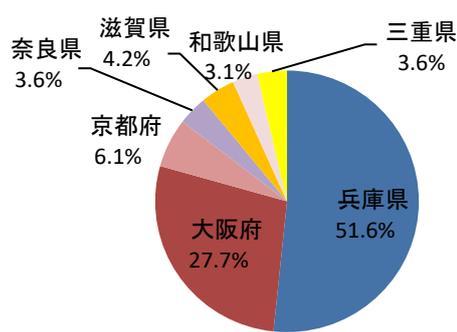
■過去6年間（2019～2024年度）の出身高校所在地別入学者数（学部のみ）



地域別入学者数（2019～2024）



近畿圏入学者数（2019～2024）

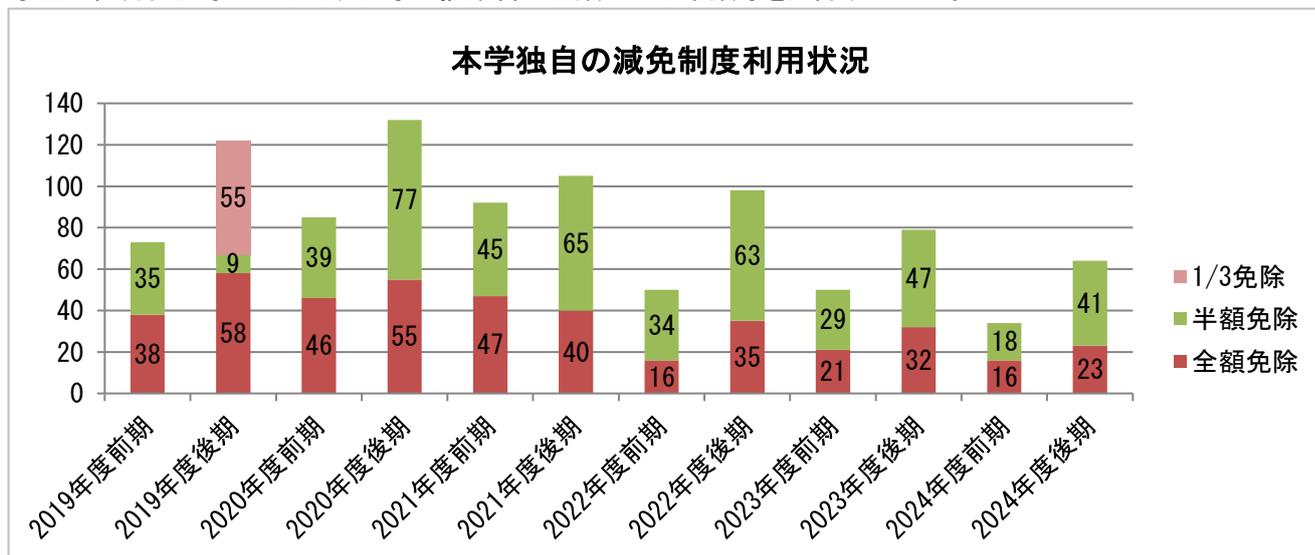


2-4 減免制度・奨学金制度利用状況

本学では、経済的事情を抱える学生に対する奨学金の受給についての相談や授業料減免制度など、勉学したい意欲をさまざまな面からサポートしています。

■本学独自の授業料減免制度

学生の経済状況等に応じて、大学が授業料の全額または半額等を免除するもの。

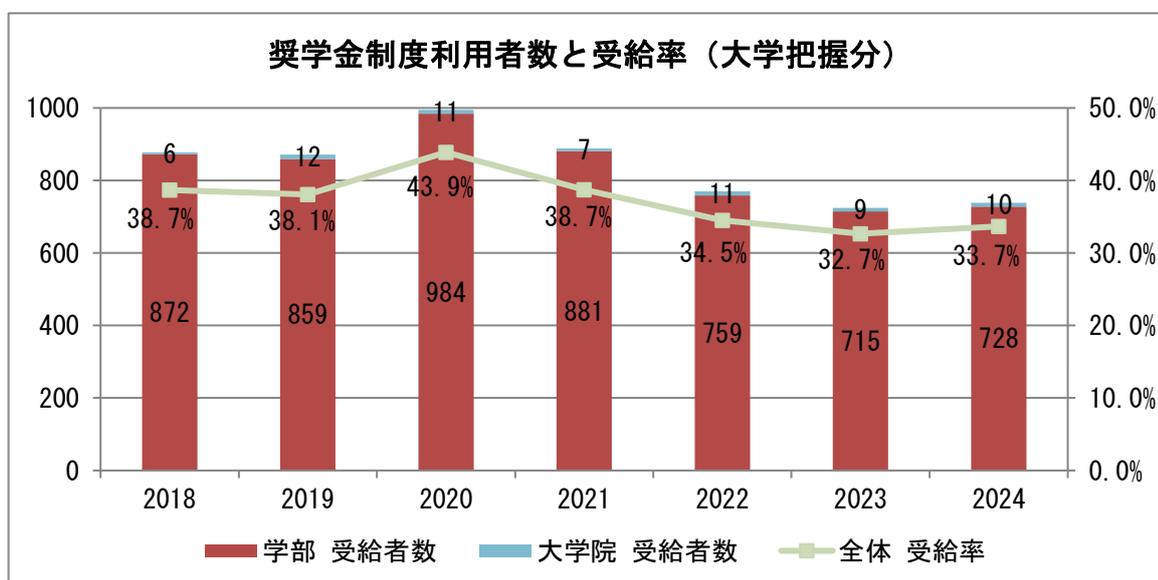


※2019年度後期については予算上限の関係上、留学生の授業料を3分の1の免除とした。

■各種奨学金制度

奨学金には日本学生支援機構のものをはじめとする各種制度がある。

※これ以外にも、直接学生が手続きするもの（地方公共団体独自の奨学金制度など）もある。

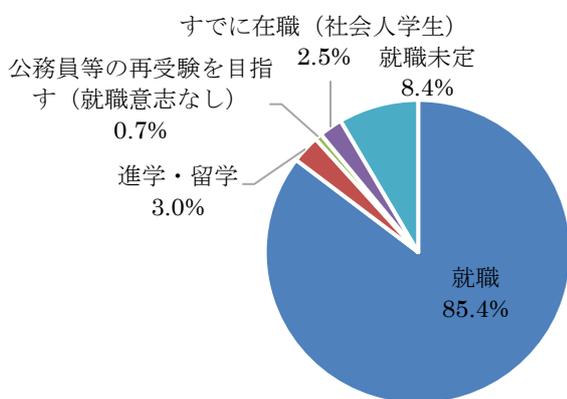


2-5 就職状況

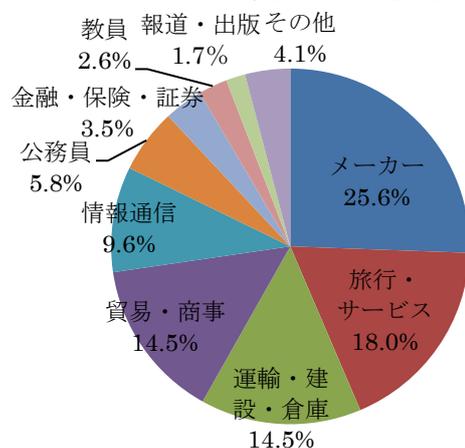
■学部卒業生の学科別進路状況（2024年度卒業生）

	卒業 者数	就職											進学・ 留学	公務員等 の再受験 を目指す (就職意 志なし)	すでに 在職 (社会 人学 生)	就職 未定
		メーカー	貿易・ 商事	金融・ 保険・ 証券	運輸・ 建設・ 倉庫	報道・ 出版	情報通 信	旅行・ サービ ス	公務員	教員	その他	合計				
英米学科	163	34	23	4	22	0	14	28	10	7	4	146	6	0	1	10
ロシア学科	28	5	3	1	4	3	3	2	2	0	1	24	1	0	0	3
中国学科	44	14	4	1	5	1	2	7	3	0	1	38	2	1	0	3
イスパニア学科	36	8	7	1	4	1	5	4	1	0	2	33	0	0	0	3
国際関係学科	70	18	9	4	9	1	6	7	2	1	4	61	1	1	0	7
第2部英米学科	62	9	4	1	6	0	3	14	2	1	2	42	2	1	9	8
合計	403	88	50	12	50	6	33	62	20	9	14	344	12	3	10	34

卒業生の進路別割合



2025年3月卒業生の就職業種



■主な就職先（順不同）

<メーカー>

アシックス、出光興産、エア・ウォーター②、NTN②、カナデビア、カネカ、川崎重工業、キーエンス、キヤノンメディカルシステムズ、神戸製鋼所②、SUMCO④、四国電力②、スズキ②、住友ゴム工業、東芝、TOYO TIRE②、東レ、トヨタ自動車②、日本電気 (NEC)、日本ペイントグループ、パナソニック インダストリー、ファミリア、古野電気③、マキタ②、マツダ、三菱重工業、三菱電機②、三ツ星ベルト②、ミネベアミツミ③、雪印メグミルク、UCC 上島珈琲

<貿易・商事>

伊藤忠商事、岩谷産業、JFE 商事、ZOZO、豊田通商、日鉄物産②、ニトリ、ファーストリテイリング、富士貿易、良品計画②

<金融・保険・証券>

神戸信用金庫、東京海上日動火災保険②、野村証券、三菱 UFJ 銀行、明治安田生命保険

<運輸・倉庫>

伊藤忠ロジスティクス、上組②、近鉄エクスプレス③、佐川急便、JAL スカイ大阪②、神鋼物流、全日本空輸②、西日本鉄道国際物流事業本部③、日本航空③、日本通運③、阪急阪神エクスプレス②、三井倉庫ホールディングス、郵船ロジスティクス③

<報道・出版>

ギミック、中日アド企画、ピーツ

<情報・通信>

いまじん、インフォコム、エヌ・ティ・ティ・データ・ビジネスブレインズ、コナミグループ、サントリーマーケティング&コマース、Sky、Speee、ソフトバンク、デル・テクノロジーズ、日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ②

<旅行・サービス>

アクセンチュア⑥、アビームコンサルティング②、エイチ・アイ・エス、JTB③、日本コンベンションサービス、日本旅行、パソナグループ、ヒルトングループ②、ペニンシュラ東京、星野リゾート

<公務>

大阪高等裁判所、大阪出入国在留管理局③、大阪税関、外務省 (専門職員) ③、航空管制官、神戸市役所、姫路市役所、兵庫県庁、防衛省航空自衛隊、横浜税関

<教員>

神奈川県教育委員会、神戸市教育委員会③、東京都教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会

<その他>

青山特許事務所②、大阪大学、国際協力機構 (JICA)、中小企業基盤整備機構、半導体エネルギー研究所②

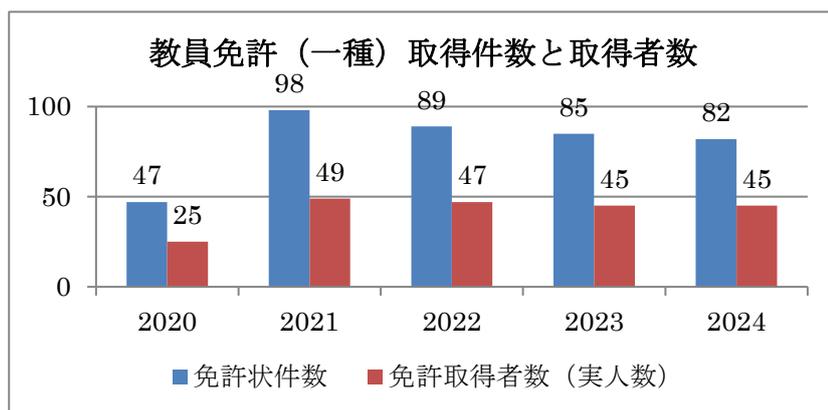
2-6 資格等取得状況

■教員免許

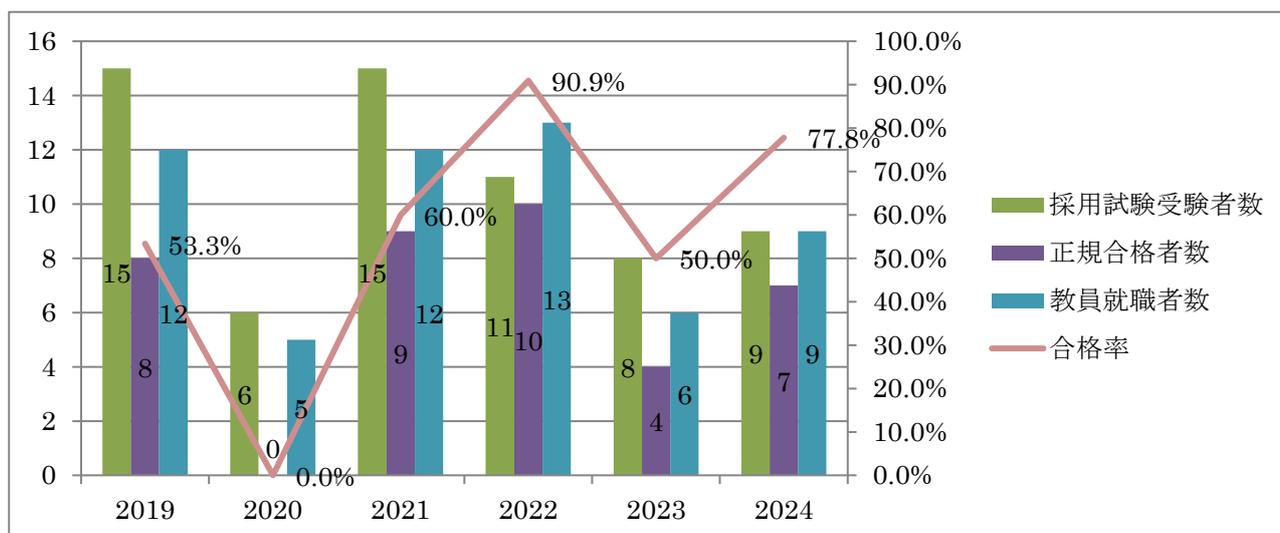
【教員免許状取得状況（科目等履修生除く：一括申請分のみ）】

年度		英語							ロシア語	中国語	イスパニア語	商業	合計	実人数	英語		合計	
		英語	英米	口	中	イ	国関	2部							英語学	英語教育学		
2019	中1種	30	15	1	2	0	1	11	1	1	0	/	32	41	中専免	2	4	6
	高1種	41	17	1	4	1	4	14	1	2	1	0	45		高専免	2	4	6
2020	中1種	18	6	0	0	3	6	3	0	0	2	/	20	25	中専免	0	2	2
	高1種	25	9	0	2	3	7	4	0	0	2	0	27		高専免	0	2	2
2021	中1種	38	16	3	2	2	9	6	2	2	1	/	43	49	中専免	1	4	5
	高1種	49	25	4	3	2	9	6	3	2	1	0	55		高専免	1	5	6
2022	中1種	38	17	2	2	1	10	6	2	0	0	/	40	47	中専免	1	6	7
	高1種	47	21	2	2	1	12	9	2	0	0	0	49		高専免	1	6	7
2023	中1種	35	14	0	3	2	10	6	0	2	0	/	37	45	中専免	1	5	6
	高1種	45	19	0	4	2	11	9	0	2	0	1	48		高専免	1	5	6
2024	中1種	34	14	1	1	0	11	7	0	1	0	/	35	45	中専免	0	3	3
	高1種	45	22	1	2	1	11	8	0	2	0	0	47		高専免	0	3	3

【教員免許（一種）取得件数と取得者数推移】



【教員採用試験合格率と教員就職者数】



※教育実習を終了（過年度実習を含む）して、当該年度末に卒業した学生の内数とする。

※科目等履修生は含まない。

※受験者数、合格者数には私立を含む。

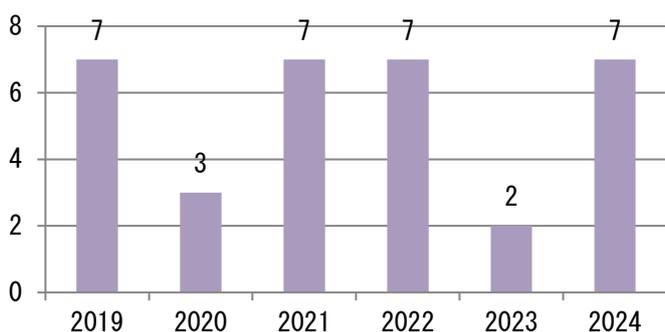
※採用試験合格により就職した者に加え、講師登録により就職（非常勤含む）をした者を含む。

■司書資格

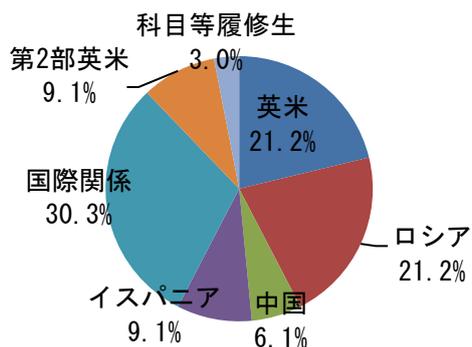
【司書課程修了者数】

資格	学科	2019	2020	2021	2022	2023	2024
司書	英米	1	0	1	2	1	2
	ロシア	2	0	1	0	1	3
	中国	1	0	0	0	0	1
	イスパニア	1	1	1	0	0	0
	国際関係	2	2	3	3	0	0
	第2部英米	0	0	1	2	0	0
	科目等履修生	0	0	0	0	0	1
	合計		7	3	7	7	2

司書課程 修了者数



学科等別修了者（過去6年間合計）

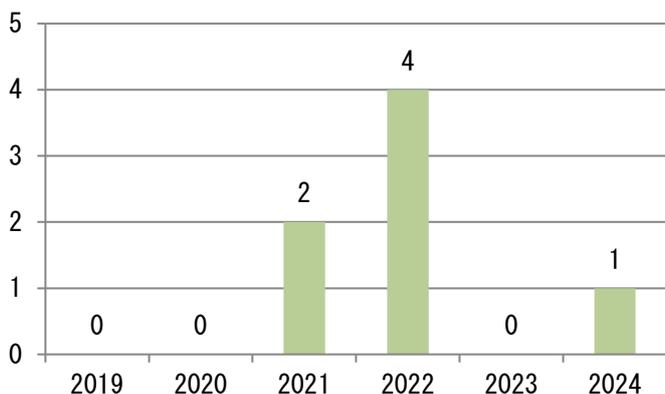


■学校図書館司書教諭資格

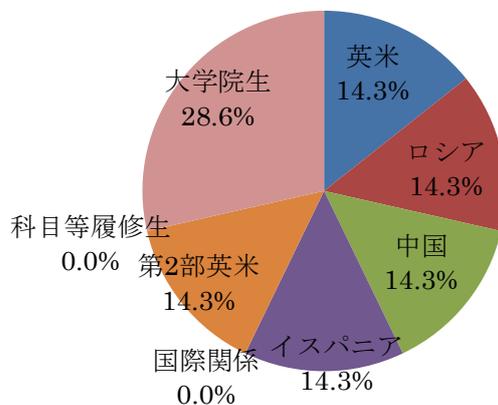
【司書教諭課程修了者数】

資格	学科	2019	2020	2021	2022	2023	2024
学校図書館 司書教諭	英米	0	0	0	1	0	0
	ロシア	0	0	1	0	0	0
	中国	0	0	0	0	0	1
	イスパニア	0	0	1	0	0	0
	国際関係	0	0	0	0	0	0
	第2部英米	0	0	0	1	0	0
	科目等履修生	0	0	0	0	0	0
	大学院生	0	0	0	2	0	0
	合計		0	0	2	4	0

学校図書館司書教諭課程 修了者数



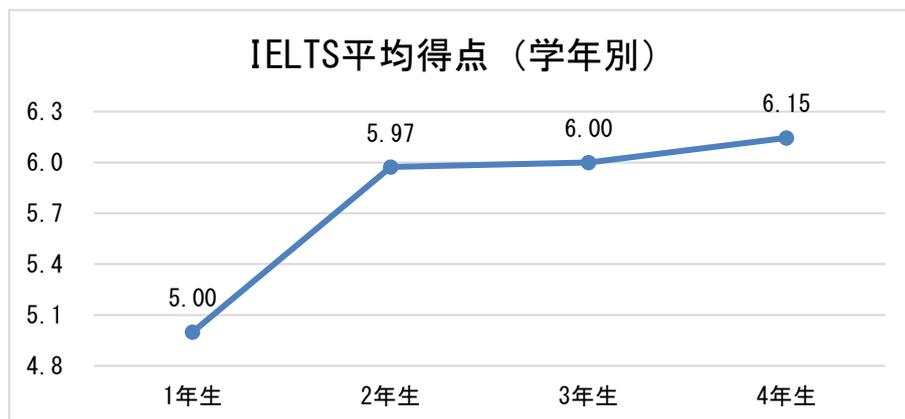
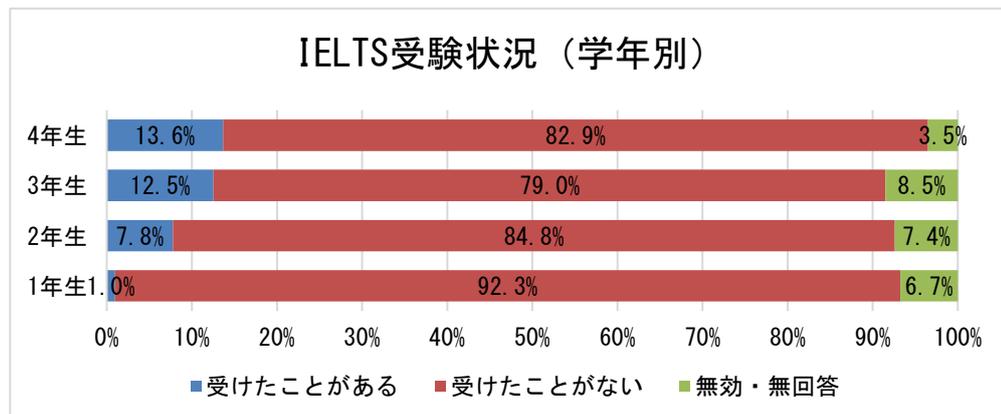
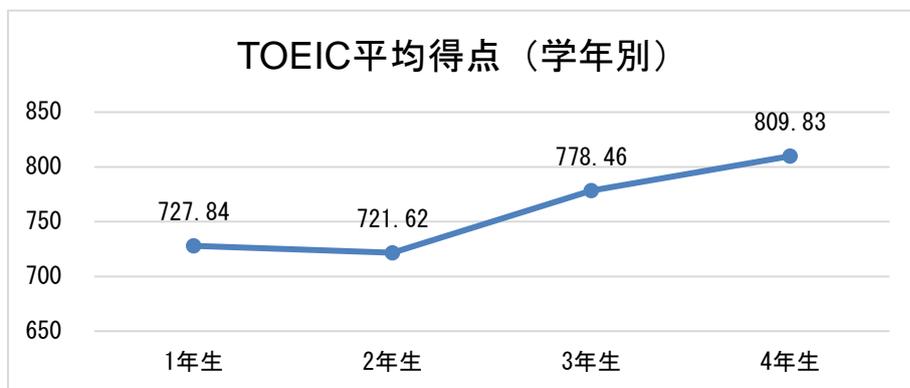
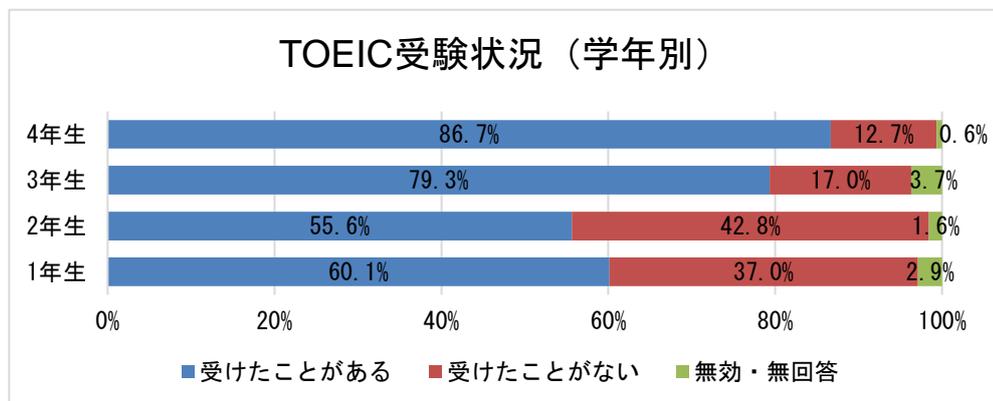
学科等別修了者（過去6年間合計）



2-7 語学運用能力の成長

※2022年11月実施「第4回学生生活調査」より（回収率67.8%） n=1,157

■英語運用能力の伸び



■ロシア・中国・イスパニア学科の語学運用能力

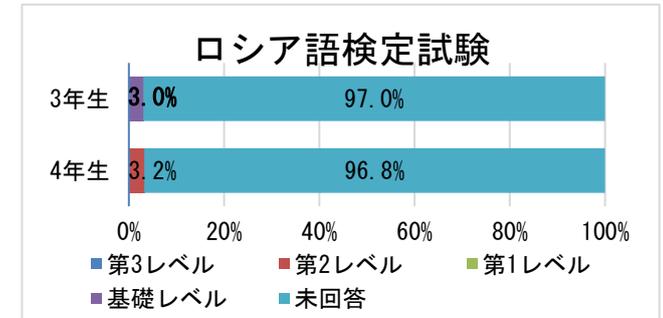
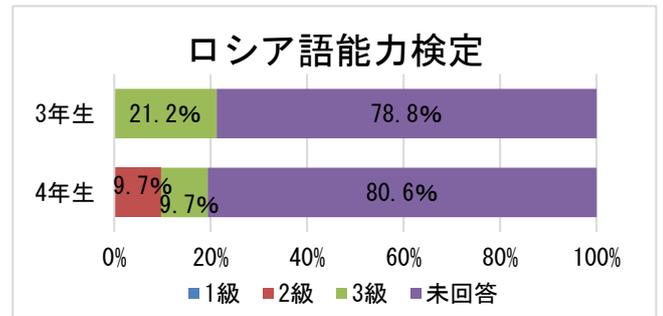
【ロシア学科 3・4 年生の受験状況】

・ロシア語能力検定

	1 級	2 級	3 級	未回答	合計
3 年生	0	0	7	26	33
4 年生	0	3	3	25	31
合計	0	3	10	51	64

・ロシア語検定試験

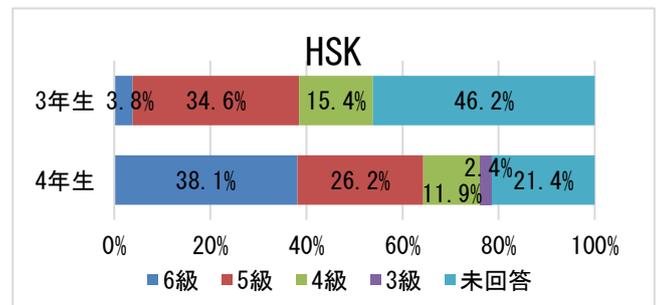
	第3 レベル	第2 レベル	第1 レベル	基礎 レベル	未回答	合計
3 年生	0	0	0	1	32	33
4 年生	0	1	0	0	30	31
合計	0	1	0	1	62	64



【中国学科 3・4 年生の受験状況】

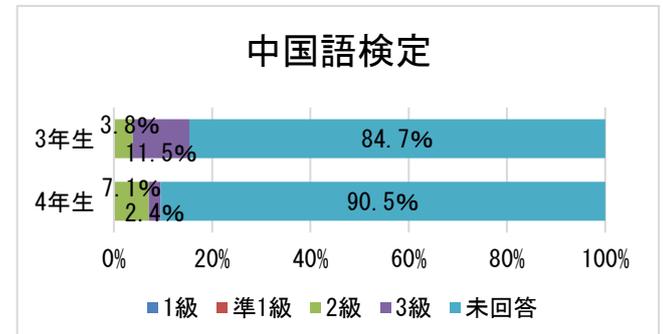
・HSK

	6 級	5 級	4 級	3 級	未回答	合計
3 年生	1	9	4	0	12	26
4 年生	16	11	5	1	9	42
合計	17	20	9	1	21	68



・中国語検定

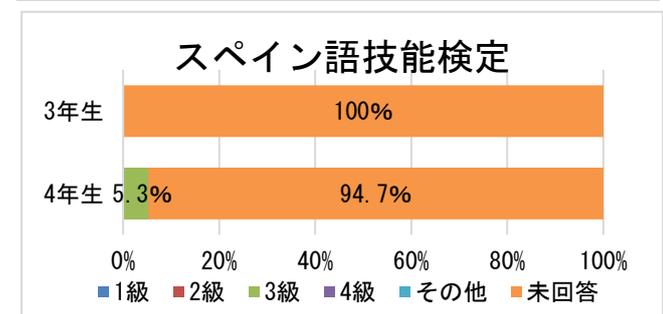
	1 級	準1 級	2 級	3 級	未回答	合計
3 年生	0	0	1	3	22	26
4 年生	0	0	3	1	38	42
合計	0	0	4	4	60	68



【イスパニア学科 3・4 年生の受験状況】

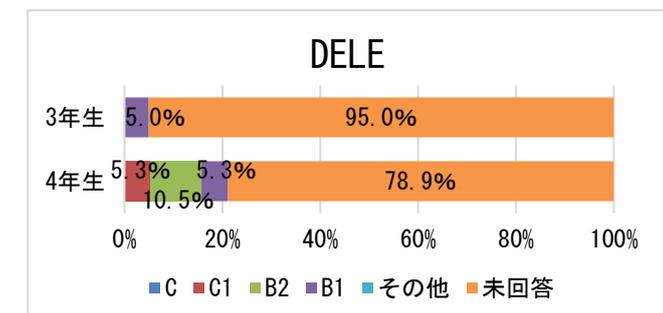
・スペイン語技能検定

	1 級	2 級	3 級	4 級	その他	未回答	合計
3 年生	0	0	0	0	0	20	20
4 年生	0	0	1	0	0	18	19
合計	0	0	1	0	0	38	39



・DELE

	C	C1	B2	B1	その他	未回答	合計
3 年生	0	0	0	1	0	19	20
4 年生	0	1	2	1	0	15	19
合計	0	1	2	2	0	34	39



2-8 課外活動状況

■学生の優れた課外活動・・・クラブなどの対外試合や学生が個人的に参加した行事等で上位に入賞し、主催者より表彰された課外活動（2024年度）

外国語コンテスト等

第10回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト

「第10回デモクラシー・ナウ！学生字幕翻訳コンテスト」課題2で修士課程 英語学専攻1年 岡本真愛美さんが、課題3で英米学科3年 谷村瞳さんがそれぞれ最優秀賞を受賞しました。

第18回学生通訳コンテスト

11月30日（土曜）、名古屋外国語大学で「第18回学生通訳コンテスト」が開催され、英米学科3年 谷村瞳さんが第3位を受賞しました。

第1回模擬アフリカ連合会議

8月23日（金曜）、上智大学等で「第1回模擬アフリカ連合会議」が開催され、ロシア学科4年 藤田高広さんがBest Delegation Awardを受賞しました。

第2回ブルガリア語弁論大会

12月7日（土曜）、大阪大学箕尾キャンパスで「第2回ブルガリア語弁論大会」が開催され、ロシア学科4年 福井薫さんが第2位を受賞しました。

第1回セルビア語スピーチコンテスト

11月9日（土曜）、在日セルビア共和国大使館で、「第1回セルビア語スピーチコンテスト」が開催され、ロシア学科4年 嶋ゆららさんが一般部門で第1位を受賞しました。

第33回関西ロシア語コンクール

11月17日（日曜）、大阪府社会福祉会館で、「第33回関西ロシア語コンクール」が開催され、ロシア学科2年 巽菜桜さんが一般部門で第2位、ロシア学科1年 菅沼彬子さんが初級部門で第1位を受賞しました。

第5回全日本大学生中国語スピーチコンテスト

第23回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選

5月25日（土曜）、阪南大学あべのハルカスキャンパスで「第5回全日本大学生中国語スピーチコンテスト・第23回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト（西日本ブロック）」が開催され、中国学科4年 田中那央さんが一等賞、中国学科4年 刀禰千春さんが二等賞を獲得しました。田中さんは西日本ブロック代表として、6月22日（土曜）、早稲田大学早稲田キャンパスで開催された「第5回全日本大学生中国語スピーチコンテスト・第23回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選」に出場し、一等賞を獲得しました。

第42回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会

1月12日（日曜）、日中友好会館で「第42回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会」が開催され、中国学科2年 桑田萌さんがスピーチ大学生部門で第6位を受賞しました。

第38回 全日本学生中国語弁論大会

11月16日（土曜）、京都外国語大学で「第38回全日本学生中国語弁論大会」が開催され、中国学科2年 宇谷日向さんが京都外国語大学総長賞を受賞しました。

The 10th Anniversary Asian Forum for the Next Generation of Sport Sciences

8月18日(日曜)、兵庫県豊岡市神鍋高原 高原亭で「The 10th Anniversary Asian Forum for the Next Generation of Sport Sciences」が開催され、国際関係学科4年 開発はるかさんが Best Student Paper Award を受賞しました。

模擬国連世界大会ニューヨーク大会

3月24日(日曜)～3月28日(木曜)、4月1日(月曜)～4月5日(金曜)、ニューヨークで「2024年模擬国連世界大会ニューヨーク大会」が開催され、以下の通り学生が活躍しました。

- ・国際関係学科2年 佐藤めいさんを団長とするイギリス大使団が Distinguished Delegation Award を受賞しました。
- ・国際関係学科2年 佐藤めいさん、国際関係学科1年 淵上瞳生さんが国連開発計画執行理事会で Position Paper Award、Outstanding Delegates Award を受賞しました。
- ・国際関係学科3年 池田紗季子さん、国際関係学科1年 樋口美柚さんが国際連合人権理事会で Position Paper Award を受賞しました。
- ・国際関係学科4年 松下巴南さんが UNESCO 理事補佐を務め、会議の進行、管理を行いました。

その他

西区善行青少年表彰

12月14日(土曜)、本学公認団体である日本語学習を助ける会が西区善行青少年として表彰されました。

■全国大学生マーケティングコンテスト（MCJ）

本学の学生を中心とする運営委員会（神戸市外国語大学全国大学生マーケティング・コンテスト運営委員会）が企画・運営する大会で、2011年に始まりました。

地元企業等からテーマの提供を受け、そのテーマに対する具体的なマーケティングプランを、全国から参加する大学生チームが英語で発表し競い合います。大会への参加を通じて、学生の企画力、課題解決力、発信力、英語表現力などの向上を図り、地域の企業等の振興にも貢献することを目指しています。

テーマ（2024年度）

神戸酒心館への来場者増加 ～酒蔵ツーリズム※の振興を通じた地域経済活性化～

※「酒蔵ツーリズム」は佐賀県鹿島市の登録商標

テーマ提供

株式会社神戸酒心館

参加大学

9大学 22チーム

※書類と動画による予選を通過した神戸市外国語大学、関西外国語大学、専修大学、阪南大学、法政大学の5大学より8チームが決勝大会に出場

入賞校

1位 法政大学

2位 神戸市外国語大学

3位 法政大学



■語劇祭

本学の誇る学生イベントのひとつで、各学科の4つの劇団が各々の専攻語を用いた劇を上演する伝統行事。演目はコメディ、サスペンス、悲劇と多岐にわたり、開催にあたっては、教員も台本の選定や発音の指導等に協力し、外大の語学教育の一翼を担っている側面がある。

日時（2024年度）

2024年12月7日（土曜） 12時30分～17時30分

2024年12月8日（日曜） 11時30分～16時00分

場所

新開地アートひろば

プログラム

○英米語劇団

演目：『The Last Will』（遺言）（作：Robert Brustein）

ロンドンから故郷に帰ってきたシェイクスピアは、家族への疑いや怒り、後悔の念にかられながら遺書を作成していく。現実と物語の区別が曖昧になる中で、彼は何を思い、何を残そうとしたのか。

○ロシア語劇団

演目：『Бригадир』（旅団長）

（作：Денис Иванович Фонвизин（デニス・イヴァーノビッチ・フォンヴィージン））
ここは18世紀のロシア。旅団長一家の息子でフランスかぶれのイワンには、ソフィアという近々結婚する予定の許嫁がいる。しかし、あなたの目の前で起きるイワンの愛の告白は、ソフィアに向けて……ではなくその母親！？

○中国語劇団

演目：『绝对信号』（非常信号）（作：高行健，刘会远）

主人公のクロは強盗の誘いで盗賊協力を決意。目当ての列車に乗り込み、盗賊仲間が待つ駅“曹家鋪”に向かう途中で、車掌や同郷のペット・ミツパチに出会う。次第に、クロは彼らと強盗のどちらを選ぶかのジレンマに悩まされることとなる。

○イスパニア語劇団

演目：『Santa Perpetua』（聖女ペルペトゥア）（作：Laila Ripoll（ライラ・リポイ））

ペルペトゥアは遠い昔から現在、そして遥か未来を見通す力を持っている。彼女はその奇跡を商い、二人の兄弟と館で暮らしている。ある雷雨の日、「ソイロ」と名乗る者が館を訪れ、聖女に自転車を要求する。二人にはどうやら確執があるようで…



劇団賞	最優秀劇団賞	イスパニア語劇団
	優秀劇団賞	中国語劇団
主 演 役 者 賞	最優秀主演役者賞	栗森 幸穂 (イスパニア語劇団 役名: Perpetua)
	優秀主演役者賞	村松 美月 (英米語劇団 役名: William Shakespeare)
助 演 役 者 賞	最優秀助演役者賞	山田 紅葉 (イスパニア語劇団 役名: Pacifico)
	優秀助演役者賞	下江 昌輝 (ロシア語劇団 役名: イヴァン)
若葉賞	最優秀若葉賞	ゴ ウカン (中国語劇団 役名: ペット)
	優秀若葉賞	村松 美月 (英米語劇団 役名: William Shakespeare)
ベストキャラクター賞		村松 美月 (英米語劇団 役名: William Shakespeare)
		下江 昌輝 (ロシア語劇団 役名: イヴァン)
		ゴ ウカン (中国語劇団 役名: ペット)
		栗森 幸穂 (イスパニア語劇団 役名: Perpetua)
照 明 賞		イスパニア語劇団
音 響 賞		イスパニア語劇団
字 幕 賞		イスパニア語劇団
舞台美術賞		中国語劇団
衣装メイク賞		英米語劇団
観 客 賞		イスパニア語劇団

3 研究

3-1 科学研究費助成事業

■採択研究課題一覧（2019年度以前に終了した採択研究課題は掲載していない）

【基盤研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
メコン川中流域を中心とした諸言語の言語実態と変容プロセスの研究	2017	2022
感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界	2018	2022
環太平洋圏における核と原爆をめぐる想像力と植民地主義の研究	2020	2023
西チベットにおける古チベット語碑文の総合的研究 ～岩石碑文の歴史的意義の再検討～	2020	2024
適性処遇交互作用に基づく英語語彙学習の最適化に向けた指導法データベースの構築	2020	2023
包括型コミュニティ・ポリシング：東南アジアにおける武装組織の社会統合モデル	2020	2022
国際協働による戦後日本思想史の再審：歴史学と思想史の多面体を目指して	2023	2027
タイ・ラオスおよび周辺地域の少数言語の語彙・文法調査と言語動態学的研究	2024	2027
Professional Visionの可視化による英語教師認知の形成・変容過程の解明	2024	2027

【基盤研究（C）】

研究課題名	採択年度	最終年度
東アジア哲学の共通基盤としての数理と論理	2017	2020
大衆旅行時代におけるロマン主義精神の継承—湖水地方の観光と文化的景観の変容	2017	2020
江戸時代の俳諧文化における画家・絵画評価とその画壇への影響の研究	2018	2021
Exploring Typewritten Literary Manuscripts via Kerouac's "On the Road"	2018	2020
ロシアの亡命思想家と戦間期の西欧思想	2018	2022
節の切り詰め効果に関する研究：局所性制約に基づく説明の発展・深化に向けて	2018	2022
Building a corpus of ELF (English Lingua Franca) user negotiated interactions	2018	2022
開発と地域住民によるローカリティとアイデンティティの再編に関する人類学的研究	2018	2022
裁判官人事システムの経済学的分析	2018	2022
新出文献に基づく中世チベット仏教伝播後期における空白期間の総合的解析	2019	2021
ヘンリー・ジェイムズをめぐる翻訳と解釈—東洋と西洋をつなぐ<新・国際挿話>の創出	2019	2022
言語変化パターン解明に向けた彝文字地図作成及び彝語コーパスの構築と活用	2019	2021
日本語と中国語の結果複合動詞の分析：「視点」と「主観性/主体性」の観点から	2019	2022
現代バスク語諸方言の音韻と文法の記述 ～地域差と世代間差の二つの側面から～	2019	2022
A Genre Analysis Approach to Effective Writing in Multilateral Diplomacy	2019	2022
アンチダンピング関税発動の経済分析：その要因と効果	2019	2022
小学生の言語的課題の解決に向けた日本語学・心理学の連携的研究	2019	2022
中国における情報手段の発達と環境政策への市民参加に関する研究	2019	2022
Linking Vision and Language through Computational Modelling	2019	2023
ロシア・バレエの越境的展開に関する研究と国際的ネットワークの構築及び発信力の強化	2020	2023
オビ川下流域のウラル系少数民族の言語使用実態の研究	2020	2023
近代インドにおける装身品と嗜好品：国内市場志向型低価格商品の勃興とその模造的文脈	2020	2022
因果推論の手法を用いた国際金融の諸問題の影響の解明	2020	2022
投資家の不均一性が情報開示に与える影響に関する理論的研究	2020	2022
現代マレーシアにおけるムスリムの仏教観と宗教多様性—宗教研究者の言説を中心に	2021	2024
ロマン主義詩の引用・借用・援用—英国湖水地方の文化的景観とワーズワス受容の諸相	2021	2024
清代の満洲語文法書類に関する研究	2021	2023
異文化理解のための話し言葉コーパス—国際共通語としての英語で学ぶ現代日本社会	2022	2024
障害児者のアクティブ・エイジングをささえる運動プログラムの開発と社会実装の試行	2022	2025
シェイクスピア演劇と疫病：宮城聡と王景生を中心に	2023	2025
事象の動態的把握と静態的把握をめぐる露日対照言語研究：事象と事物のアナロジー	2023	2025
直進する時間・循環する時間：中国語における“前/后”“上/下”の認知的対立	2023	2025
日本語における節の名詞化と従属節の構造に関する研究	2023	2025
擬似漢字の形成原理を援用した契丹文字・契丹語の研究	2023	2026

危機管理の組織の経済学	2024	2027
小学生の抱える言語的課題の原因解明と解決を目指す日本語学・心理学の連携的研究	2024	2027
エコロジーと民主主義の変容：人新世代のフランス思想	2024	2027
こどもの時間とプラグマティズム：ジェイムズ兄弟妹における遊び、好奇心、自由意志	2024	2026

【挑戦的研究（萌芽）】

研究課題名	採択年度	最終年度
Asian Women on the Move: Migration, Memory and Gender in Contemporary Performance	2019	2022
日米の相互関係による核イメージの構築・変容・社会的影響に関する研究	2018	2020
意味想起形式による英語語彙サイズ・コンピュータ適応型テストの開発	2022	2024

【若手研究（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
琉球王国最末期の漢文学者・蔡大鼎の日本・中国・琉球に関する知の形成と集積	2017	2020

【若手研究】

研究課題名	採択年度	最終年度
タイ上座仏教海外派遣僧プログラムの布教方針とその英国における実践形態の分析	2018	2022
サイト・トランスレーションに関する理論的・実証的研究	2018	2022
武力紛争に至らない自衛権行使の時間的・事項的範囲	2018	2022
契丹大字と契丹小字の比較に基づく契丹大字表記システムの解明	2018	2022
英米探偵小説における隠れた言葉遊びの使用法	2019	2022
黄金期探偵小説における男性性表象	2019	2022
ベラルーシ共和国のロマ（ジプシー）の方言の記述言語学的研究	2019	2021
宋元代の音韻資料に基づく中国語音韻史の理論的研究	2019	2021
日本人スペイン語学習者の書記コミュニケーションに関する中間言語語用論的研究	2019	2021
脱植民地期フランスの政治主体論—エティエンヌ・バリバルを中心に	2020	2023
新デイヴィッドソン主義事象意味論と項構造の廃止	2020	2021
ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』再考：原爆をめぐる言説形成の視点から	2020	2022
蔡大鼎『欽思堂詩文集』の総合的研究—漢詩文に現れる近世琉球士族の生活・教養・交流	2021	2024
現代スラヴ諸語におけるアスペクトの意味および行為の意味の対照言語学的研究	2021	2025
漢語系諸語の北方基部変種の音韻に関する総合的研究	2022	2024
Video-cued インタビューを用いた英語教師の授業実践に関する教育理解の解明	2023	2026
教育学における再帰的自己に関する批判的検討：レヴィナス「再帰」概念を中心に	2024	2026
アメリカの抒情詩的主体と科学技術の状況に関する研究—シルヴィア・プラスを中心に	2024	2028
共通ロマンシュ語（スイス）と標準ロマニ語（ルーマニア）の言語計画比較研究	2024	2026
モンゴル語カンギュルの写本から版本に渡って見られる発展と変容	2024	2026

【研究活動スタート支援】

研究課題名	採択年度	最終年度
対音資料による唐代音韻史の研究—初唐期を中心に	2019	2020
日米における不便宜法廷地の比較法的研究	2021	2022
近現代ドイツ文学における抒情詩のモラル：エーリッヒ・フリートを中心に	2024	2025

【特別研究員奨励費】

研究課題名	採択年度	最終年度
露文資料を用いた近代中国語の研究	2021	2022
近現代イギリスの消費文化と生活協同組合—国際取引と女性たち	2022	2024

【国際共同研究強化（A）】

研究課題名	採択年度	最終年度
変化する警察—軍関係と民主的セキュリティ・ガバナンスの課題	2018	2022

【国際共同研究強化（B）】

研究課題名	採択年度	最終年度
インド北東部の消滅の危機に瀕した言語文化のドキュメンテーション	2019	2022

【研究成果公開促進費（学術図書）】

研究課題名	採択年度	最終年度
〈限界〉志向のロシア語と〈安定〉志向の日本語—アスペクト表現のロシア語・日本語対照研究	2021	2021
王維『モウ川集』の研究—詩歌・園林・絵画の融合—	2023	2023

■ 科学研究費獲得状況

(1) 申請件数、採択件数、採択率

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
申請件数	29件	21件	14件	10件	22件	29件
基盤研究 (A)	1件	0件	0件	1件	0件	0件
基盤研究 (B)	2件	4件	1件	1件	3件	5件
基盤研究 (C)	17件	7件	8件	4件	12件	14件
その他	9件	10件	5件	4件	7件	10件
採択件数	17件	9件	7件	4件	9件	11件
基盤研究 (A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	0件	2件	0件	0件	1件	2件
基盤研究 (C)	10件	4件	3件	1件	5件	4件
その他	7件	3件	4件	3件	3件	5件
採択率	58.6%	42.9%	50.0%	40.0%	40.9%	37.9%

※その他には、研究スタート支援、研究奨励を含む。

(2) 継続研究件数

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
継続件数	26件	35件	40件	39件	33件	25件
基盤研究 (A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	2件	2件	3件	4件	3件	1件
基盤研究 (C)	15件	20件	22件	20件	18件	13件
その他	9件	13件	15件	15件	12件	11件

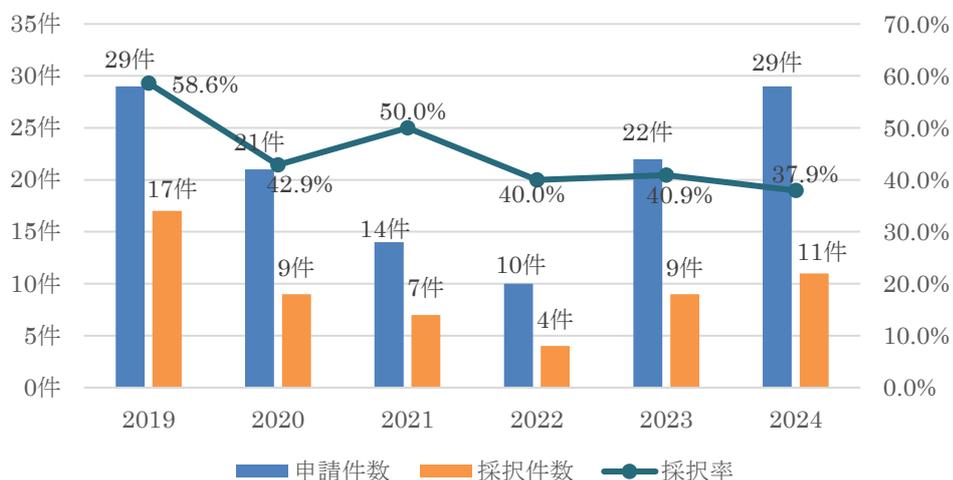
(3) 研究課題数合計

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
合計件数	43件	42件	47件	43件	41件	36件
基盤研究 (A)	0件	0件	0件	0件	0件	0件
基盤研究 (B)	2件	4件	3件	4件	4件	3件
基盤研究 (C)	25件	23件	25件	21件	23件	17件
その他	16件	15件	19件	18件	14件	16件

(4) 執行額

(単位：千円)

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
執行額合計	63,029	41,003	47,696	44,124	37,092	49,479
直接経費	48,863	23,696	35,663	35,524	30,888	38,849
間接経費	14,166	17,307	12,033	8,600	6,204	10,630



3-2 学術論文

※執筆者の肩書は執筆当時のものを記載。また、号によっては一部肩書を省略しているものがある。

■外国学研究（2019～2024年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者	
2019年 12月	93	20世紀東アジア：越境する文学形式と思考の流動	章炳麟と張之洞－交錯する清末の国粹主義－	北京大学中文系 副教授 陸 胤
			章炳麟「読仏典雜記」と井上哲次郎編『哲学叢書』	中国社会科学院近代史研究所 副研究員 彭 春凌
			少年雑誌の啓蒙性－山縣悌三郎の『少年園』と崔南善の『少年』－	福岡大学人文学部 講師 柳 忠熙
			「須講文法」再思	香港教育大学文学及文化学系 助理教授 李 婉薇
			魯迅、マンスフィールドと文学的モダニズム－「幸福な家庭」を例に－	北京大学中文系 副教授 張 麗華
			周作人「美文」小攷－明治末期の日本文学を材源として－	北九州市立大学外国語学部 准教授 鳥谷 まゆみ
			雛形から完成形へ－洪深と中国話劇の「近代」形態の構築－	武漢大学文學院 副教授 裴 亮
			他者性を目撃する－「民衆」を記録する一人称の語り－ “土”的再造：战时中国的思想潜流	首都師範大学文學院 副教授 袁 一丹
			帝国を引き継ぐ文学形式－1992年以降の日本現代文学における北朝鮮表象、村上龍『半島を出よ』を中心に－	琉球大学法文学部 准教授 吳 世宗
2022年 2月	94	調達活動をめぐる協調行動に関する法と経済学的研究	サプライヤーの品質改善投資と調達オークションのデザイン	准教授 森谷 文利 教授 田中 悟
			関係的契約理論から見たリニア中央幹線談合事件	教授 田中 悟 名古屋大学大学院法学研究科 教授 林 秀弥
			入札談合と市場の画定	名古屋大学大学院法学研究科 教授 林 秀弥
			政府調達における調達者と供給者間の協調的行為の動機と規制の論理	河南財経政法大学法学研究科 教授 高 重迎
2024年 12月	95	ジェームズ兄弟妹（シブリングス）とモダニティ	ウィリアム・ジェームズのプラグマティズムにおける経験主義的視座	同志社大学文学部 教授 新 茂之
			“Unconsciously Pragmatized” —William James と Henry James、「経験」と「可感」のプラグマティズム—	青山学院大学文学部 准教授 齊藤 弘平
			W. ジェームズの『宗教的経験の諸相』—ドイツ思想における評価—	神戸大学 名誉教授 廳 茂
			On the Origins of Philosophical Siblings	University of North Carolina at Chapel Hill Professor, THRAILKILL, Jane
ウィリアム・ジェームズの新心理学とアリス・ジェームズの病	立命館大学文学部 名誉教授 中川 優子			

			モダニティに生きる女性の主体観念—ジェイムズとウォー-ton を読む—	同志社大学文学部 教授 石塚 則子
			ガートルード・スタインの「メランクサ」—その革新性とウィリアム・ジェイムズの心理学—	神戸女学院大学文学部 教授 三杉 圭子
			生き方(ライフスタイル)としてのプラグマティズム—ジェイムズ兄弟妹(シプリングス)を読む—	神戸市外国語大学 名誉教授 中村 仁美
96	ロシア語専攻授業と連動した自律学習オンライン教材の開発		「ロシア語専攻授業と連動した自律学習オンライン教材の開発」研究プロジェクト	神戸市外国語大学 教授 金子 百合子
			授業と連動した外部試験対応自律学習オンライン教材作成と専攻2年次生文法クラスでの試み	神戸市外国語大学 非常勤講師 三浦 由香利
			ロシア語自律学習オンライン教材の開発と試験運用	神戸市外国語大学 非常勤講師 スタリツィナ・エレーナ
			外国語としてのロシア語教育における統合型学習モデル—中級レベルにおける課外活動としてのプロジェクト・メソッド—	神戸市外国語大学 准教授 バイビコフ・エレナ
			ロシア語専門学校「ミール・ロシア語研究所」における教授法の実践試みから教材開発への一提言	神戸市外国語大学 非常勤講師 松下 則子
			ロシア語多読のための絵本案内	神戸市外国語大学 准教授 藤原 潤子

■研究年報（2019～2024年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2019年 12月	59	Language Policy, Innovations and Practices: A Tale of Two Countries	Editor Donna TATSUKI
		Introduction to Language Policy, Innovations and Practices : A Tale of Two Countries	Donna TATSUKI
		Historical Overview of Foreign Language Policies in Japan	Donna TATSUKI
		Current MEXT Policies and Goals : The New Course of Study for Elementary Schools	Keiko HARUOKA
		MEXT Policies and Learning Experience : Lifelong Learners of Languages other than English	Emi SHIBUYA
		Agents of change or products of compromise? How Japanese senior high school EFL textbooks (mis)represent foreign language curriculum reform	Gregory Paul GLASGOW / Daniel Leigh PALLER
		The Expected and Unexpected Failures of the Global 30 Program	Michael HOLLENBACK
		Higher Education Reforms : The Italian Case	Anna ROMAGNUOLO
		Teaching Practices and Learning Outcomes : Voices from the Field	Alba GRAZIANO / Patrizia SIBI
		Current Educational Policy in Italy : A Focus on Language Learning and CLIL	Letizia CINGANOTTO
2019年 12月	60	Topics in Middle Mekong Linguistics	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		The word for 'snake' in Thémárou, Bolyu, Bit, Kra, Jiamao, and Oceanic: A Lapita Connection?	James CHAMBERLAIN
		The Ethnopoetics of Sida Animal Names	Nathan BADENOCH
		Animal nomenclature in Jinghpaw	Keita KURABE
		Notes on Faunal Terms in At Samart Saek	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle Mekong Region and Southeast Asia	
		Karen and Surrounding Languages	Atsuhiko KATO
The Differences between the Tay and Nung Languages in the Trang Dinh District of Lang Son Province	Ayaka HIRANO		

		On Two Venitive Verbs in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2021年 2月	61	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		A Note on the Paleo-Ethnoherpetology of Giant Softshell Turtles (Trionychidae) in Kra-Dai and Austronesian	James R. CHAMBERLAIN
		Fishing the Uplands: A Linguistic Perspective on the Ethno-Ichthyology of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		The Phonology, Morphology, and Semantics of Burmese Zonyms	Keita KURABE
		A Preliminary Report on Entomological Vocabulary in Sani Yi	Kazue IWASA
		A Wordlist of Akha Buli Fauna with Reference to Areal Linguistics	Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive and Historical Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Grammaticalization of Some Verbs in Serial Verb Constructions in Nung	Ayaka HIRANO
		Impersonal Construction with the Noun 'Thing' in Subject Position in Pwo Karen	Atsuhiko KATO
2021年 12月	62	Criticality in English Language Teaching	Editor Michael HOLLENBACK
		Max Horkheimer's Early Critical Theory, and Critical ELT research	Robert J. LOWE
		Exploring Orientalist discourse in ELT research in Japan	Michael HOLLENBACK
		De-nativizing academic writing in Japanese ELT: Toward a translingual approach	Yuzuko NAGASHIMA/ Luke LAWRENCE
		The preservation of native-speakerist ideology	Xinqi He
		Irrationality in the Consumption of English: The Case of Eikaiwa Advertising in Japan	William SIMPSON
		Policy and gender inequity in Japanese higher education	Tanja McCANDIE
2022年 11月	63	Preface	Editor Norihiko HAYASHI
		Part A: Faunal Terms in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 1 Comparative and Historical Glimpses of the Lacertilia (Lizards) in Tai: A Reconstructive Problematic	James R. CHAMBERLAIN
		Chapter 2 "Crocodiles and dragons": Fauna and Folklore in the Forests of Northern Laos	Nathan BADENOCH
		Chapter 3 naag nok kuək kap cɣas Lady Bulbul and the Ngeuak	Nathan BADENOCH
		Chapter 4 A Sketch of the Mammal Terms of Muang Sing Lolopho with Reference to Dialectal Comparison	Norihiko HAYASHI
		Chapter 5 Continuity and Change in the Duodenary Cycle: Language Contact in the Laos-China Border Area	Nathan BADENOCH Norihiko HAYASHI
		Part B: Descriptive Linguistics in Middle-Mekong Region and Southeast Asia	
		Chapter 6 Eastern Pwo Karen Verb Particles Indicating 'Up' and 'Down'	Atsuhiko KATO
		Chapter 7 A note on taA-/təA- in Lan Hmyo	Yoshihisa TAGUCHI
2023年 12月	64	NMJN Japan 2022: Stakeholders' Perspectives on Learning Processes and Outcomes	Editor Michael HOLLENBACK
		Introduction to NMJN Japan 2022: Stakeholders' Perspectives on Learning Processes and Outcomes	Michael HOLLENBACK, Lori ZENUK-NISHIDE
		Overview: Hosting the National Model United Nations Japan 2022	Lori ZENUK-NISHIDE, Michael HOLLENBACK, Yumi MATSUDA
		Cultural Learning for Diplomatic Training	Michael HOLLENBACK

		Community Building at NMUN Japan 2022: Forum and Ceremonies	Lori ZENUK-NISHIDE, Yumi MATSUDA
		Nuclear War or Non-Nuclear Peace? The Need to Make an Educated Choice	Setsuko THURLOW
		Education for Peace – Constant Efforts of International Society and Japan	Kazuo KURODA
		Inter-connectedness of Peace and Sustainable Development as An Evolving Mission of the United Nations	Tetsuo KONDO
		JICA's Trust-Building Approach for Sustainable Peace	Hiroe ONO
		Peacebuilding For and With Children	Yumiko HORIE
		The United Nations Membership Dynamics: The Case of PR China vs. Taiwan, Germany, and USSR as well as Former Soviet Republics	Thomas WEILER
		Global Partnership for Education Results Based Financing: A Case Study of Teacher Deployment Strategies in Francophone Sub-Saharan Africa	Naoko HOSAKA, Yumi MATSUDA
		A Story of Resilience: Bringing Ukrainian Universities to the NMUN Global Community	Halyna PROTSYK
		Essential Global Competencies for EFL Delegates at the Model United Nations	Thomas FAST
		Active Learning in MUN Training: Curriculum and Instruction for Low-Proficiency Japanese Students	Keiji FUJIMURA
		Preliminary Analyses of a MUN Corpus of English as a Lingua Franca	Donna TATSUKI
2024年 12月	65	Section 1: ボーダーとレイシズムを考えるために	編者 神戸市外国語大学 准教授 太田 悠介
		プロローグ	神戸市外国語大学 准教授 太田 悠介
		Against Borders の国境廃絶論が提起するボーダーとレイシズムに関する論点について	東京外国語大学世界言語社会教育センター講師 梁 英聖
		包摂する境界という難問— メッザードラ+ニールソン『く方法としての境界』を踏まえて考察する資本主義と人種主義 —	三重大学人文学部 准教授 北川 真也
		インターセクショナルな反人種主義の哲学— エティエンヌ・バリバルとフランスのスカーフ —	神戸市外国語大学 准教授 太田 悠介
		レイシズムとボーダーをめぐるディスカッション	一橋大学 名誉教授 鶴飼 哲 東京外国語大学世界言語社会教育センター講師 梁 英聖 三重大学人文学部 准教授 北川 真也 神戸市外国語大学 准教授 太田 悠介
		Section 2: Different Perspectives in Minority Language Studies: The Case of Slavic Speaking Area	Editor Kaname OKANO Associate Professor KCUFS
		Foreword to the Section "Different Perspectives in Minority Language Studies: The Case of Slavic Speaking Area"	Kaname OKANO Kobe City University of Foreign Studies Kenta SUGAI Hokkaido University
		Backa-Srem Ruthenian Language Research	Mihajlo FEJSA University of Novi Sad/Serbia
		Sorbian Studies from a Japanese Perspective	Ken SASAHARA Seijo University

	Divided between Three Countries: Banat Bulgarians in the Past and at the Beginning of the 21st Century	Marinela MLADENOVA South-West University "Neofit Rilski"/Bulgaria
	The Role of the Outsider Perspective in the Linguistic Study of Backa-Srem Ruthenian	Kaname OKANO Kobe City University of Foreign Studies
	The Patterns of Loan Noun Adaptation in the Bulgarian-Romanian Bilingual Context: The Case of a Bulgarian Dialect in Romania	Kenta SUGAI Hokkaido University
	Identification Focus in the Written Bulgarian Language	Eleonora YOVKOVA-SHII University of Toyama

■研究叢書（2019～2024年度）

発行年月	号数	タイトル	執筆者
2019年12月	第62号	16世紀スペイン文学の傍流-エラスムス主義の影響の射程-	教授 野村竜仁
2020年12月	第63号	『老乞大』四種版本対照テキスト	教授 竹越 孝
2021年12月	第64号	満漢成語對待校注	教授 竹越 孝
2022年12月	第65号	五巻本『庸言知旨』校注	教授 竹越 孝
2023年12月	第66号	契丹小字で表記された漢語音と契丹語の音韻	客員研究員 武内 康則
2024年12月	第67号	Spanish philosophical modernity and its influence on Latin American philosophy	客員教授 Damian Pachon Soto

3-3 研究支援事業

専任教員の研究活動を促進することを目的として、学内研究支援事業を行っている。

■Research Project A（共同研究・研究交流を支援する）（2018～2023年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018年度	教授 立木 ドナ	Building the MUNSELF Corpus	4年
2019年度			
2020年度			
2021年度			
2022年度	准教授 Michael David	National Model United Nations Japan 2022 - UN Forum	2年
2023年度	Hollenback		

■Research Project B（研究会・討論会の開催を支援する）（2019～2026年度）

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2019年度	教授 難波江 仁美	プラグマティズム再考：ジェームズ兄妹とモダニティ	4年
2020年度			
2021年度			
2022年度			
2019年度	教授 田中 悟	公共調達をめぐる協調行動に関する法と経済学的研究—関係的契約（relational contract）の視点から—	3年
2020年度			
2021年度			
2021年度	教授 金子 百合子	ロシア語専攻授業と連動した自律学習オンライン教材の開発	3年
2022年度			
2023年度			
2023年度	教授 竹越 孝	アジア諸言語の接触と変容：通時的・共時的観点からのアプローチ	2年
2024年度			
2024年度	准教授 Rajeev Kumar Singh	Comparative Analysis of Green Spaces in Tsukuba City and Kobe City: Impacts on Mental Health and Community Interaction	3年
2025年度			
2026年度			

■ Research Project C (科学研究費に申請し採択に至らなかった研究を支援する) (2018~2023 年度)

採択年度	申請者	研究課題	研究期間
2018 年度	准教授 L.Nishide	A Genre Analysis Approach to Negotiated Resolution Writing for Model United Nations	1 年
2020 年度	教授 山口 征孝	社会言語学から文化概念を問い直す—英米系長期在留者へのインタビュー分析を通して	1 年
2023 年度	講師 松田 裕美	ポストパンデミックの国際開発教育とグローバルシチズンシップ教育の融合モデル探求	1 年

※2024 年度より科学研究費助成事業 A 評価再チャレンジ支援事業へ移行 (RP-C は廃止)

■ 科学研究費助成事業 A 評価再チャレンジ支援事業 (2024 年度から)

採択年度	申請者	研究課題 (応募時)	研究期間
2024 年度	教授 中田 友子	南ラオスのグローバル化とコミュニティの動態：ローカルティに関する民族誌的研究	1 年
2024 年度	准教授 木場 紗綾	「日本型」防衛外交の政策形成過程：東南アジア 4 ヶ国との防衛協力事例から	1 年
2024 年度	准教授 廣見 正行	一般国際法における自衛権行使の終了義務	1 年
2024 年度	准教授 石椋 義和	業績予想の開示戦略, 決定要因, 経済的帰結に関する分析的研究	1 年
2024 年度	教授 大石 高志	環インド洋地域を含む広域アジアにおける消費財の流通と社会動態：資源制約と環境変動	1 年

■ 国際会議・セミナー等開催支援 (2019~2024 年度)

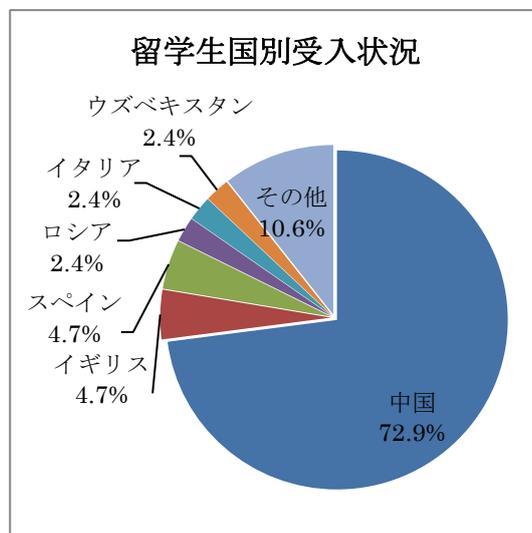
採択年度	申請者	会議等名称	会議実施日
2019 年度	教授 任 鷹	The 27th Annual Conference of International Association of Chinese Linguistics (国際中国語学学会第 27 回年次大会: IACL-27)	2019/5/10~12
2022 年度	准教授 Michael David Hollenback	National Model United Nations Japan 2022	2022/11/20-27
2024 年度	教授 竹越 孝	第 15 回国際訳学書学会国際学術会議	2024/8/30~31

4 国際交流

4-1 留学状況

■留学生の受け入れ（2024年5月1日現在）

国・地域	学部生	交流留学生 (日本語プログラム)	大学院生 (修士課程)	大学院生 (博士課程)	研究生	外国人研究生	合計
中国		2	30	19		11	62
イギリス		4					4
スペイン		3		1			4
ロシア		2					2
イタリア		2					2
ウズベキスタン		2					2
フランス		1					1
ドイツ		1					1
オーストリア		1					1
フィリピン		1					1
ポーランド		1					1
ルクセンブルク		1					1
タイ				1			1
台湾				1			1
韓国			1				1
合計	0	21	31	22	0	11	85



■学生の海外留学等状況

【交換留学（2019～2024年度）】

国名	留学先	2019	2020	2021	2022	2023	2024
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	-	7	1	-	0	1
	オーガスタナ大学	1	0	2	0	1	1
イギリス	ニューカッスル大学	2	0	5	1	2	3
	ヨークセントジョン大学	2	0	4	2	1	2
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2	7	0	0	0	0
カナダ	メディシンハット大学	1	0	1	1	0	0
	レジャイナ大学	1	0	1	1	2	1
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2	7	1	0	2	4
	ミュンヘン大学	2	0	2	0	0	2
ロシア	クバン国立大学	2	0	1	0	0	0
	ウラル連邦大学	1	0	1	0	0	0
	太平洋国立大学	2	0	7	0	0	0
カザフスタン	カザフ国立大学	2	7	1	1	1	2
ブルガリア	ソフィア大学	-	-	-	-	-	2
キルギス	キルギス国立総合大学	-	-	-	-	-	1
中国	天津外国語大学	1	7	7	7	1	1
	東北師範大学	2	7	7	2	2	2
	北京語言大学	2	0	0	2	2	2
台湾	国立台湾師範大学	-	-	-	-	-	1
スペイン	サラマンカ大学	2	0	2	1	0	2
	サラゴサ大学	2	0	1	2	2	2
	マドリード自治大学	2	0	1	1	1	1
合計		31	6	27	15	17	30

※斜体はオンライン留学

【長期派遣(認定)留学 (2019~2024 年度)】

国名	留学先	2019	2020	2021	2022	2023	2024
アメリカ	イースタンワシントン大学				1		
	ウエスタンカロライナ大学						1
	オレゴン州立大学	1				1	
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校	1					
	サンディエゴ州立大学				1		
	セントクラウド州立大学				1		
	テネシー工科大学				1		
	ノースアラバマ大学	1			1		
	ハートウィック大学	1				1	
イギリス	ノーサンブリア大学	1					
	ヨークセントジョン大学	1			1		
	リーズ大学	1		1			
オーストラリア	ウーロンゴン大学						1
	クイーンズランド大学						1
	グリフィス大学	1				3	1
	サザンクロス大学	2	1				1
	スウィンバーン工科大学		1				
	ディーキン大学						1
カナダ	メディシンハット大学			1	1	1	
マレーシア	サンウェイ大学				1		
ロシア	極東連邦大学	1					
	国立プーシキン記念ロシア語大学	2					
	モスクワ国立大学	2	1				
中国	廈門大学	1					
	華東師範大学	2				1	
	上海師範大学	2					2
	浙江大学	1					
	天津大学	1					
	天津外国語大学		1				1
	東北師範大学	2				1	1
	南京大学						1
	復旦大学	2			1	2	
	北京語言大学					1	
	北京師範大学	1				1	
	黒竜江大学					1	
	広東外語外資大学				1		
台湾	国立成功大学					1	
	国立台湾師範大学				3		1
	輔仁大学				1		
	国立台湾大学			1		3	
	文藻外語大学					1	
スペイン	アルカラ大学	1			4		2
	サラゴサ大学			2		4	
	サラマンカ大学			2	3		
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	1					
	パブロ・デ・オラビデ大学	1					
	マドリード自治大学	1					
	ラ・リオハ大学					1	
メキシコ	メキシコ国立自治大学				1		1
合計		31	4	7	22	23	15

※斜体はオンライン留学

【スペイン語圏派遣留学（2019～2024年度）】

国名	留学先	2019	2020	2021	2022	2023	2024
スペイン	アルカラ大学	3	不催行	3	1	3	3
	オルテガ・マラニョン国際教育センター		不催行	2		1	
	ラ・リオハ大学	1	不催行		5	4	4
メキシコ	メキシコ国立自治大学		不催行				1
合計		4	0	5	6	8	8

【短期派遣留学（2019～2024年度）】

国名	留学先	2019	2020	2021	2022	2023	2024
アメリカ	UCLA Extension	2	不催行	3	5	廃止	廃止
	ワシントン大学コンティニュアムカレッジ (UWCC)	-	-	-	-	10	4
イギリス	リーズ大学	-	-	-	-	-	14
オーストリア	アメリカ・インスティテュート	21	不催行	不催行	18	18	廃止
ロシア	モスクワ大学(夏季)	2	不催行	3	不催行	不催行	0
	モスクワ大学(春季)	4	不催行	不催行	不催行	不催行	2
キルギス	キルギス日本センター(夏季)	-	-	-	-	3	2
	キルギス日本センター(春季)	-	-	-	-	3	0
中国	北京語言大学	2	不催行	2	6	2	7
スペイン	国立通信教育大学(夏季)	不催行	不催行	不催行	休止	休止	不催行
	国立通信教育大学(春季)	不催行	不催行	不催行	休止	不催行	2
合計		31	0	8	29	36	31

※斜体はオンライン留学

※別途「荻野スカラシップ」奨学金制度で、下記のとおり休学留学実績あり。

2019年度・・・中国人民大学（1名）、サンクトペテルブルク国立大学（1名）、グリフィス大学（1名）

2022年度・・・ライデン大学（1名）

2023年度・・・エセックス大学（1名）

※2020年度の留学はすべてオンラインで実施（春渡航者も帰国後オンラインに切り替えて修了）

※2022年度の中国への交換留学生は全員オンラインで留学開始したがその後渡航し、修了。

※オルレアン大学（フランス）は交換留学提携校であるが、開講科目がフランス語のみであるため休学で派遣し長期留学の派遣実績にはカウントしない。

※「不催行」は参加者学内募集後の人数不足によるプログラム不実施を、「休止」は参加者学内募集前の諸事情によるプログラム不実施を意味する。

※「-」は協定の不存在を、「0」は参加者学内募集後の参加者の不存在を意味する。但し、交換留学の表におけるイースタン・ワシントン大学については、「-」は本学からの送人数の超過に伴う先方大学による受入休止を意味する。長期派遣（認定）留学とスペイン語圏派遣留学の表においては、視認性向上等のため、それらの代わりに空白を用いている。

【休学による留学・語学研修等（2024年度実績：大学把握分）】

	・短期大学 大学学部	ランゲージセンター等の大学 施設	民間等語学 学校	専門学校 レベル	不明・その他	合計
アイルランド	1		4			5
アメリカ合衆国	6		2			8
イタリア			1			1
ウズベキスタン	2					2
オーストラリア	3	1	21			25
オランダ	1					1
カザフスタン	1	1				2
カナダ	1	1	20		2	24
スイス	1					1
スペイン	1	2	4			7
デンマーク			2			2
ドミニカ共和国		1				1
トルコ		1				1
ニュージーランド			4			4
フィリピン			9			9
マルタ			1			1
マレーシア	1		1			2

メキシコ			1			1
英国	3		2			5
韓国		2				2
台湾		3				3
中国	8	4	1			13
合計	29	16	73	0	2	120

【海外インターンシップ】

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
city' super 香港インターンシップ派遣プログラム	2	0	0	0	0	0
上海インターンシップ	12	0	0	0	0	0
JETRO サンフランシスコ事務所プログラム	0	0	0	0	0	0
キルギス日本センター	-	-	-	-	1	3

【トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム】

第11期 2019 前期	第12期 2019 後期	第13期 2020 前期	第14期 2020 後期	2021 前期	2021 後期	2022 前期	2022 後期	第15期 2023	第16期 2024
0	3	募集中止	1	募集停止	募集停止	募集停止	募集停止	1	0

※第12期採用者3名のうち2名はコロナ禍により渡航できず辞退。1名のみ、2021年11月より留学を開始。

※第14期採用者はコロナ禍により留学開始を延期し、2022年1月より留学を開始。

※2021年度以降、募集は機構の判断により停止していたが、2023年度より第15期が再開。

4-2 国際交流協定

■学生・教員交流協定締結機関（2025年3月末現在）

計 16 カ国 46 大学・機関

国名	大学名	初回締結	学生交換	認定	短期派遣	教員交換
アメリカ	イースタン・ワシントン大学	1981.12	※1	○		
	ウィスコンシン大学マディソン校	2023.12		○		
	エルマイラ大学（ダブルディグリー）	2001.5		○		
	オーガスタナ大学	2011.8	1名	○		○
	オレゴン州立大学	2019.1		○		
	サンディエゴ州立大学	2024.1		○		
	UWCC（ワシントン大学コンティニューアムカレッジ）	2022.12				○
英国	リーズ大学	2007.9		○	○※3	
	ニューカッスル大学	2014.7	3名	○		
	ヨークセントジョン大学	2015.8	2名	※2		
イタリア	ローマ大学サピエンツァ	2013.5	2名			○
ウズベキスタン	世界言語大学	2023.3	2名			
オーストラリア	ディーキン大学	2007.10		○		
	モナッシュ大学（ダブル・マスター）	2014.3	院5名			
	ニューサウスウェールズ大学	2014.4		○		
	サザンクロス大学	2015.7		○		
カザフスタン	カザフ国立大学	2018.7	2名	○		
カナダ	メディシンハット大学	2009.11	※1	○		
	レジャイナ大学	2012.1	2名	○		
キルギス	公益法人キルギス共和国日本人材開発センター	2023.3			○	
	キルギス国立総合大学	2023.7	2名			
スペイン	オルテガ・マラニョン国際教育センター	1989.11		○		
	アルカラ大学	1994.6		○		
	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2007.4		○		
	ラ・リオハ大学	2007.10		○		
	セゴビア市及び国立通信教育大学	2009.12		※2	※2	
	サラマンカ大学	2013.6	2名	○		
	マドリード自治大学	2014.1	1名	○		
	サラゴサ大学	2014.10	2名	○		
中国	天津外国語大学	1983.7	1名	○		
	復旦大学	1995.12		○		○
	北京語言大学（15年度学生交換開始）	2008.9	1-2名	○	○	○
	東北師範大学（15年度学生交換開始）	2011.12	1-2名	○		○
	上海師範大学	2012.10		○		○
	南開大学	2022.2	院生			
台湾	国立台湾師範大学	2023.3	1名	○		
ドイツ	デュースブルグ・エッセン大学	2012.6	4名			
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	2013.10	2名			
フランス	オルレアン大学（交換留学は休学が必要）	2020.12	3名			○
ブルガリア	ソフィア大学聖クリメント・オフリドスキ	2023.2	2名			
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2015.3		○		
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	2001.11		○		
	モスクワ大学ロシア語ロシア文化学院	1967/2006.2		○	○	○
	ウラル連邦大学	2015.4	2名	○		
	クバン国立大学	2015.4	1-2名	○		
	太平洋国立大学	2016.6	1-2名	○		

※1：毎年相手方との協議を経て交換留学生在が派遣出来るかどうか決定。

※2：2025年度は派遣休止。

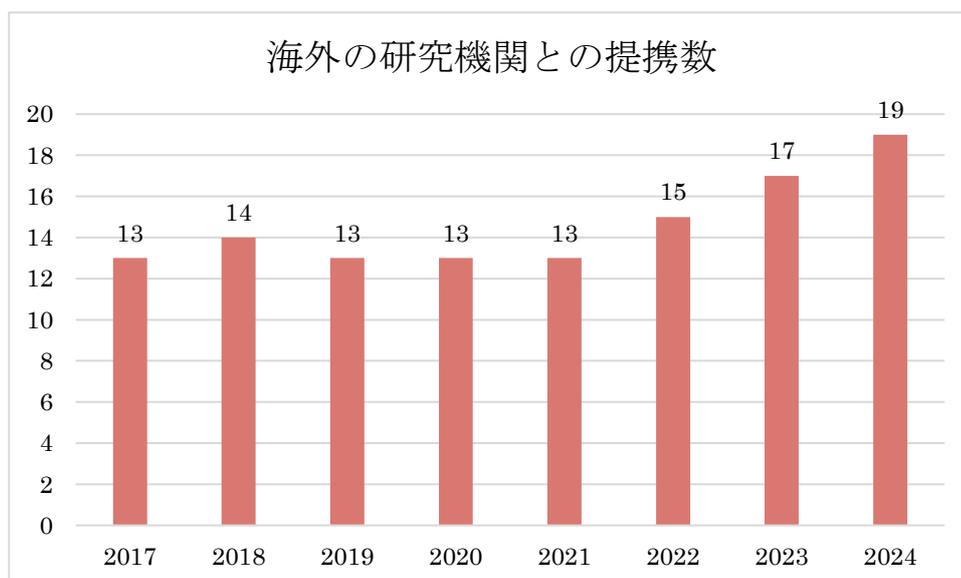
※3：長期の派遣協定に加え、2024年度新たに短期派遣協定を締結。

■海外の研究機関等との提携（2025年3月末現在）

計 14 カ国・地域、19 大学・機関 ★は 24 年度の新規提携

国名	締結先	締結時期	備考
フランス	国立高等研究院	2008.3	
タイ	マヒドン大学	2014.12	
ロシア	ウラル連邦大学	2015.4	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
ロシア	クバン国立大学	2015.4	
スイス	ベルン大学	2015.10	
スペイン	バスク大学	2016.4	2008年4月に締結した交流協定に学術協力（交流）に関することを追加
ロシア	太平洋国立大学	2016.6	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
カナダ	メディシンハット大学	2017.1	
カナダ	レジャイナ大学	2017.3	
スペイン	ナバラ大学	2018.3	
インド	インド工科大学 グワハーティー校	2019.2	
中国	南開大学文學院	2019.8	2022年2月、大学院の学生交換協定を追加
ブルガリア	ソフィア大学「聖クリメント・ オフリドスキ」	2022.10	
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立 世界言語大学	2022.12	
台湾	国立台湾師範大学	2023.3	学生・教員の交流協定に学術協力（交流）に関することを含む
キルギス	キルギス国立総合大学	2023.7	
ルーマニア	ヴァラヒア大学	2023.12	
アイルランド	★ダブリン大学 トリニティ・カレッジ	2024.8	
中国	★上海外国語大学	2024.12	教員交換を含む

海外の研究機関との提携数



5 地域貢献・地域連携

5-1 地域行政、団体などとの協力

【神戸市の行政、団体などとの協力（5機関）】（2025年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
神戸市教育委員会	市教委と本学教職課程及び英語教育学専攻を中心にした連携。市内の小中学校、高校の教員研修や、児童・生徒の国際教育・交流事業（小学生の外大訪問、中学生のイングリッシュサマースクールやイングリッシュフェスティバルなど）。
（公財）神戸国際コミュニティセンター	相互の人的・知的資源、施設の有効活用、国際協力・交流の充実と地域貢献の進展に資すること。
神戸市立博物館	大学教員と博物館学芸員の連携による市民向けの講演会の共同実施など。
神戸市西区	防災・福祉・文化・教育・国際交流・地域活性化など、地域の特性に応じたきめ細かいまちづくりのための連携や、施策推進、それぞれの主催事業に対する相互の協力など。
（一社）神戸新聞文化センター	公開講座の共同開催。

【上記以外の国内の大学との協力、大学間連携に関する連携（5機関）】（2025年3月末現在）

提携先の機関名	主な内容
東京外国語大学	大学院教育交流や学部の入試広報事業。
神戸大学大学院文学研究科	単位互換授業。
神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）	単位互換授業、高校生向けの講座提供など多岐にわたる連携交流事業。
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流事業などに協力。
全国外大連合	教育研究の内容に応じた様々な連携。学生、教員・職員及び研究者の交流を通じた教育研究の水準向上。

5-2 市民講座・公開講座等

■神戸市外国語大学提携講座

2018年8月に神戸新聞文化センターと連携協力に関する協定を締結し、2018年度後期より「市民講座」、「オープンセミナー」を統合し、「神戸市外国語大学提携講座」として神戸新聞文化センター（三宮ミント神戸）にて開講している。

2024年度実績（1講座 9名）

	講座名	講師	回数	受講者数
前期	Humour in English	Henry Atmore 教授	全12回	9名
	経済学と数学、データ	藤井 隆雄 教授	全4回	最低開講 人数に達 せず閉講
後期	ロシア語初級	松山 勝哉 (博士課程1年)	全12回	
	元祖サラリーマン社会に学ぶ、日本 社会のこれから	並河 葉子 教授	全4回	

■外大サテライト語学講座

2024（R6）年度から UNITY 事業を引き継ぎ、「外大サテライト語学講座」として、2024年度前期は7言語31講座（受講者553名）、2024年度後期は9言語33講座（受講者558名）を開講した。

5-3 学生ボランティア活動

■2024 年度学生ボランティア活動実績

分野	分野別 人数	主な内容
国際協力	331	外国人留学生・中国帰国者の日本語学習補佐、外国客船乗客への観光案内、神戸マラソン中国語アナウンス・外国人ランナーの通訳、来日直後の留学生との日本語交流、神戸インバウンドガイド、世界パラ陸上レセプション通訳ボランティア、世界パラ陸上運営ボランティア
子どもの教育・生活	128	小学5,6年生対象の英会話レッスンを通じた英語の楽しさの伝達、保育所での園児と英語を用いた交流（企画・運営）、地域の子どもたちの学習支援、海外にルーツを持つ子どもたちの日本語学習サポート、子ども食堂運営
地域振興支援	64	イベント当日の運営手伝い／通訳、地域の清掃イベントの企画・運営、地域のフェアへの出店運営サポート
お年寄り支援	49	外大近隣に暮らすお年寄りの方とのお便り交流、外大近隣に暮らすお年寄りの方とのおしゃべり交流
環境保護	12	小学生とのゴミ拾い、イベント当日の運営手伝い
災害復興支援	9	古本回収・その売却益の能登半島地震義援金への寄付、災害ボランティア
障がい者支援	1	障がい者の職業技能競技会の手伝い
合計	594	

<学生の大学サポート活動>

分野	分野別 人数	内容
オープンキャンパス	181	オープンキャンパスでの来訪者対応
学内外国人留学生支援	129	日本語プログラム(JLP)生の本学での活動全般のサポート
花植え	31	学内花壇への植栽
国際交流	5	学内外の交流イベントの企画運営
合計	346	

6 教職員

6-1 教員数

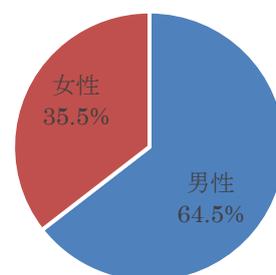
■職位別（2024年5月1日現在）

学科別	学長	教授	准教授	講師	計
英米学科		12	4	3	19
ロシア学科		3	4		7
中国学科		4	3		7
イスパニア学科		3	3		6
国際関係学科	1	8	10	1	20
総合文化グループ		6	8	3	17
合計	1	36	32	7	76

■男女別（2024年5月1日現在）

学科別	男性	女性	計
英米学科	12	7	19
ロシア学科	4	3	7
中国学科	4	3	7
イスパニア学科	3	3	6
国際関係学科	14	6	20
総合文化グループ	12	5	17
合計	49	27	76

教員男女比



■外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合（2024年5月1日現在）

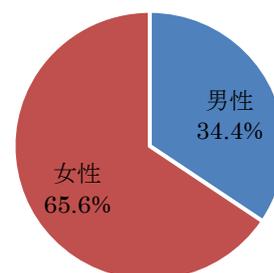
	人数	割合
全教員	76人	
①外国籍の教員	14人	18.4%
②外国の大学で学位を取得した日本人教員	14人	18.4%
③外国で通算1年以上（3年未満）の教育研究歴がある日本人教員（非②）	15人	19.7%
④外国で通算3年以上の教育研究歴がある日本人教員（非②）	4人	5.3%
①～④の合計	48人	63.2%

6-2 職員数

■所属別・男女別（市派遣・固有・契約・パート、2024年5月1日現在）

所属	男性	女性	計
経営G・総務G	18	22	40
学生支援・教育G	7	21	28
研究所G	3	15	18
学術情報G	4	3	7
合計	32	61	93

職員男女比



7 財務状況

■財務状況の推移

(単位：百万円)

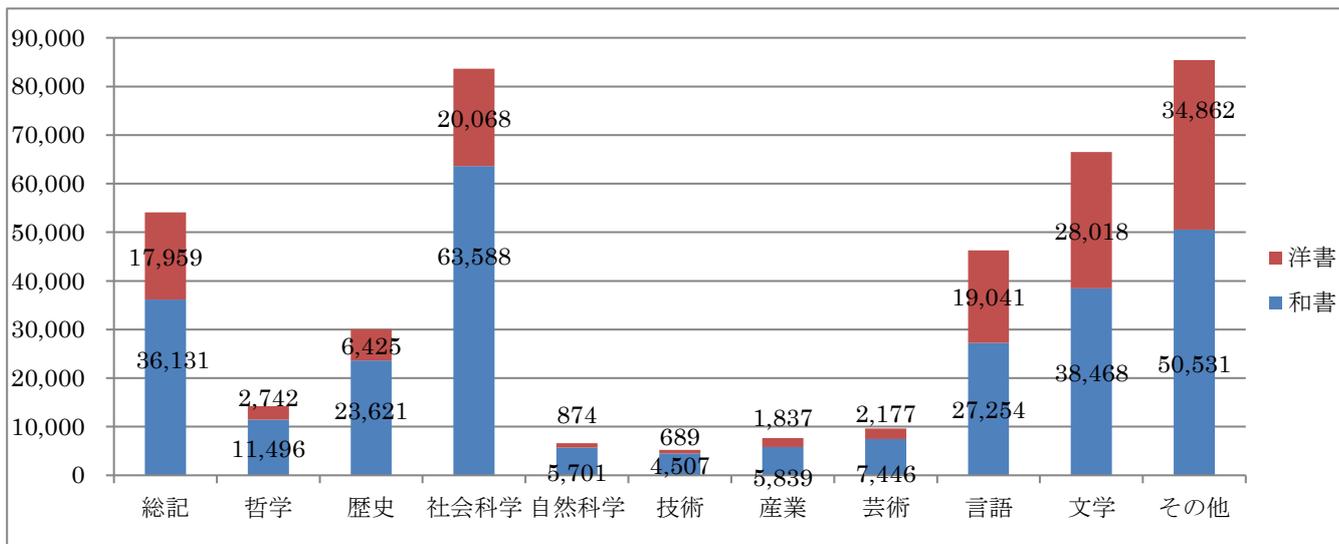
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常費用	2,346	2,431	2,499	2,730	2,633	2,572
業務費	2,124	2,164	2,181	2,350	2,281	2,273
教育経費	248	376	341	420	337	328
研究経費	64	53	54	50	97	65
教育研究支援経費	68	69	72	76	83	90
受託研究費	-	1	3	12	5	6
受託事業費等	0	-	0	2	-	-
共同研究費	3	1	1	1	1	1
人件費	1,740	1,665	1,711	1,790	1,758	1,782
役員人件費	81	149	82	132	101	102
教員人件費（常勤）	1,021	885	965	971	927	894
教員人件費（非常勤）	175	167	185	193	198	205
職員人件費（常勤）	334	329	351	402	412	423
職員人件費（非常勤）	129	135	127	92	119	158
一般管理費	219	260	311	374	346	298
その他の費用	4	6	6	6	6	2
財務費用	4	6	6	5	6	2
雑損	-	-	-	0	-	0
経常収益	2,411	2,524	2,455	2,635	2,664	2,457
運営費交付金収益	1,098	1,218	1,101	1,314	1,436	1,180
学生納付金収益	1,149	1,174	1,184	1,111	1,130	1,103
授業料収益	933	966	976	909	924	901
入学金収益	184	174	176	169	174	169
検定料収益	33	34	32	33	31	34
受託研究収益	-	1	4	14	5	6
受託事業等収益	0	-	1	2	-	-
共同研究収益	3	1	1	1	1	2
補助金等収益	0	1	1	3	1	0
寄附金収益	17	11	41	54	45	56
資産見返負債戻入	81	85	86	86	-	-
その他の収益	62	33	37	50	48	109
財務収益	2	2	2	5	6	8
雑益	60	31	35	46	42	101
経常利益（損失）	65	93	△44	△95	31	△115
臨時損失	-	-	0	21	2	0
臨時利益	-	1	0	0	2,248	5
当期純利益（損失）	65	94	△44	△116	2,278	△110
前中期目標期間繰越積立金取崩額	12	4	49	147	186	72
目的積立金取崩額	-	-	-	65	68	57
当期総利益（損失）	77	97	5	97	2,532	19

※四捨五入により合計が合わない場合があります。

※2023年度以降は、法人及び外大に係る財務状況（高専除く）を記載しています。

8 図書館

■蔵書冊数：409,274冊（和書：274,582冊 / 洋書：134,692冊）（2024年度）



■図書館利用状況（2019～2024年度）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
入館者数（人）	143,534	32,328	44,368	81,724	100,372	98,803
貸出冊数（冊）	39,459	21,071	20,748	33,422	33,383	31,157

2024年度入館者数（内訳：人）

区分	外大				高専		市民	合計
	学部生	大学院生	教職員	卒業生	学生	教職員		
入館者数	77,026	3,839	11,015	1,125	2,785	30	2,983	98,803

※法人の職員は外大側に含む。

2024年度貸出冊数（内訳：冊）

区分	外大				高専		市民	合計
	学部生	大学院生	教職員	卒業生	学生	教職員		
貸出冊数	20,878	2,716	3,731	654	69	87	3,022	31,157

※法人の職員は外大側に含む。

2024年度市民利用制度利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
市民利用状況	206	180	2,983	3,022